

印旛健康福祉センター(保健所)

避難所

健康管理マニュアル

平成29年3月

平成30年3月一部改正

平成28年度 印旛健康福祉センター災害マニュアル作成プロジェクト

(総 括) センター長 杉戸一寿

(避難所健康管理) ◎地域保健課 課長 福田浩子

生活衛生課 課長 丸山秀樹

地域保健課 副主幹 萬谷良子

地域保健課 副主幹 川崎由紀

地域保健課 主任上席精神保健福祉相談員 鈴木 剛

疾病対策課 技師 森 陽祐

*◎は、リーダー

〒285-8520

千葉県佐倉市鎚木仲田町8-1 印旛合同庁舎内

千葉県印旛健康福祉センター

TEL : 043-483-1133

FAX : 043-486-2777

目次

1	はじめに	1ページ
2	事前準備	1ページ
	(1) 情報収集	
	(2) チーム編成	
	(3) 物品用意	
3	避難所での活動	1ページ
4	生活・身の回りのことについて	2ページ
5	疾病の予防	2ページ
6	ライフステージに応じた留意事項	3ページ
7	その他	2ページ
8	派遣受入れの手順等	4ページ
9	チェックリスト・様式集	5ページ
10	参考資料	30ページ
11	管内避難所	59ページ
12	救護所一覧	67ページ
13	参考文献	68ページ

1 はじめに

このマニュアルは、災害発生時に市町と連携し、避難所や被災地域において、巡回による被災者の健康状態の把握、栄養指導、衛生状態の保持等の健康管理を行うことを目的に作成した。

原則として、健康福祉センター(保健所)の専門性に基づいた支援内容とするため、感染症対策、生活衛生等について支援していくこととする。

なお、報告様式、記録用紙、啓発パンフレット、各市町の避難所・救護所一覧も合わせて掲載したので、必要時に利用できる形とした。

2 事前準備

(1) 情報収集(総務課担当)

県庁防災危機管理部門、印旛地域振興事務所等と連携を取り、管内の被災市町の被災状況を確認する。

合わせて、ライフライン、道路状況もできるだけ把握していく。

被災市町の保健担当部署と連絡を取り、支援が必要な避難所等を確認

(2) チーム編成

保健師、管理栄養士及び食品・環境担当を1チームとして派遣する。

避難状況、職員参集状況に合わせて、数チーム設置する。

(3) 物品用意(55 ページ参照)

服装等個人用、保健・医療用品、活動用品・文房具等、各種記録用紙

3 避難所での活動(イメージ)

避難所へ訪問 9~16 ページの用紙を使用し、状況把握、確認等行う。

避難所の代表者(市町職員等)に声をかけ、保健所の来訪を伝える。

感染症対策、生活衛生等について状況確認し、困ったこと等について把握

指導事項等なし
困ったことなし

指導事項等あり

困ったことあり

指導実施

困ったことへ対応

食品、水、感染症予防、生活不活発病等の啓発パンフレットを配布、設置確認

市町関係部署に連絡

4 生活・身の回りのことについて (13 ページチェックリスト参照)

(1) 居住環境、空調・換気

土足厳禁

原則禁煙

(2) 水分・飲料水

(3) 栄養管理

(4) 食中毒予防

(5) 入浴について

(6) 避難所回りの環境

1) トイレの衛生

2) ごみ

3) 動物(犬・猫)の管理

4) その他(靴の泥、ポスター等の情報提供状況)

5 疾病の予防(15 ページチェックリスト参照)

○有症状者がいた場合は、チェックリスト裏面(16 ページ)の感染評価を実施

(1) 感染症流行の予防

(2) 粉じんの吸引予防

(3) 慢性疾患の悪化予防

(4) エコノミークラス症候群予防

(5) 生活不活発病予防

(6) 熱中症予防

(7) 低体温症予防

(8) 口腔衛生管理

(9) 一酸化炭素中毒予防

(10) アレルギー疾患の悪化予防

(11) 救急受診体制

(12) こころの健康保持

6 ライフステージに応じた留意事項

(1) 妊婦、産婦、乳児への留意点

1) 妊婦

・お腹の張り・腹痛・膣からの出血、胎動の減少、浮腫、頭痛、目がチカチカするなどの変化を感じた場合

・胎児の健康状態、妊婦健診や出産場所の確保に関する不安

2) 産婦

・発熱・悪露(出血)の急な増加、帝王切開、会陰切開の痛み、乳房の腫れ・痛み、母乳分泌量の減少などがある場合

・気が滅入る、イライラする、疲れやすい、不安や悲しさに襲われる、不眠、食欲がないなどの症状がある場合

3) 乳児

- ・発熱、下痢、食欲低下、哺乳力の低下などがある場合
- ・夜泣き、寝つきが悪い、音に敏感、表情が乏しくなるなどいつもと様子が異なることが続く場合

4) 幼児

- ・赤ちゃん返り、食欲低下、落ち着きのなさ、無気力、爪かみ、夜尿、自傷行為、泣くなどのいつもと様子が異なることが続く場合

(2) 子どもへの留意点

- ・外見上では判断しにくい身体的問題(慢性疾患・障害等)を抱えている場合
- ・脱水症状の兆候(唇の乾き、尿の回数の減少など)

(3) 高齢者に対する留意点

- ・脱水症状の兆候(落ちくぼんだ目、口や皮膚の乾燥、ぼんやりしているなど)。食事の他に水分1リットル必要。
- ・衣服の着替え、入浴の確認
- ・できる限り、身の回りのできることは自分で、自立した生活を継続
- ・転倒に注意
- ・見当式障害の予防(時計、カレンダーの設置など)
- ・コミュニケーションの取り方の工夫(眼鏡、補聴器使用者も多い)
- ・洋式トイレの設置・確保

(4) 慢性疾患の方への留意点

- ・高血圧、喘息、糖尿病、腎疾患、てんかん、統合失調症等の治療を中断すると病状が悪化する恐れがあるので、医師等への診療を促す。
- ・継続的な服薬と日々の食事の栄養管理等必要な場合もある。

7 その他

避難所の初動立ち上げの際の留意点 (7 ページアセスメントシート参照)

- 受付の時に「慢性疾患の有無」「お薬手帳の有無」「手持ち薬の有無」「かかりつけ医の有無」等についても確認しておく。
- 必ず土足厳禁とし、通路と通路以外の場所とをテープなどを使って、厳格に区分しておく。
- ゴミを捨てる場所をきちんと決めておくこと。
- トイレの管理は、責任者を決め清掃等実施すること。
- エコノミークラス症候群予防のため、ラジオ体操は、担当を決め1日2~3回実施が望ましい。東日本大震災では、子供が担当していた。
- その他、炊き出しの受付等は地元の方に担当してもらうことが望ましい。

8 派遣保健師等受入れの手順

(1) 応急的に必要な保健活動協議

被災市町の保健担当部署と協議し、活動の方向性を決定する。

- ・被災市町や関係機関・団体との連絡窓口を確保する。
- ・必要に応じ被災地を直接視察し、状況把握や情報の入手に努める。
- ・保健師の活動場所・形態・内容・期間等を確定又は予測する。

(2) 動員計画の策定(25～33 ページ用紙参照)

管内市町と協議を行い、動員計画を策定

- ・その後の状況の変化に応じて、動員計画を見直す。

(3) 県庁担当者へ提出(25～33 ページ用紙参照)

県庁健康福祉政策課、健康づくり支援課に対し、当該動員計画を提出する。

(4) 派遣保健師等の受入準備(9～16、35～51 ページ用紙参照)

- ・活動記録・報告様式の準備
- ・オリエンテーションに必要な情報の整理
- ・交通機関の運行情報、宿泊場所の情報等確認しておく。

(5) 派遣保健師等へのオリエンテーション

- ・被災地の現状、災害対応の進捗状況、活動場所の現況、医療機関等活用可能な施設に関する情報を提供する。
- ・派遣保健師が担当する活動場所・形態・内容を説明する。
- ・派遣チームの交替時の引継ぎは、チーム間で行うことを原則とする。
- ・派遣保健師に対する指示、報告、連絡系統及びその方法を確立し、明示する。
- ・派遣チームごとに責任者を明確にする。

(6) 市町と派遣保健師等の活動の総合調整

- ・適宜、市町の情報を確認しながら、派遣保健師ミーティング等実施し、共通認識のもと保健活動を推進できるようにする。

9 様式集

No.	用紙名	使用目的	様式番号 ページ
1	アセスメントシート	避難所立ち上げ直後に、すぐに必要な情報を把握するときに使用する。	1 P6
2	避難所情報 日報 (共通様式)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所を訪問したときに使用 ・外部支援者も含めた保健活動に使用 ・保健活動チームの報告、カンファレンスに使用 	2 P7
3	避難所情報 日報 (共通様式)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所を訪問したときに使用 ・外部支援者も含めた保健活動に使用 ・保健活動チームの報告、カンファレンスに使用 	3 P9
4	生活・環境のチェックリスト	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の訪問時使用 ・チェックし、できていない所を指導する。 	4 P10
5	疾病予防のチェックリスト 裏面:感染評価	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の訪問時使用 ・チェックし、できていない所を指導する。 ・裏面の「避難所等における感染評価」により、有症状者の評価を行い、感染対策の指導実施 	5 P11,12
6	感染症病床確保状況	感染症指定医療機関の被災・稼働状況を EMIS 等で情報を確認する。	6 P13
7	施設内集団発生探知速報 FAX	感染症発生時に、県庁疾病対策課に速報を FAX する用紙	7 P14
8	地域活動記録	管内の保健活動に必要な災害情報の収集・整理	8 P15
9	管内における保健活動計画	市町保健活動体制等の確認	9 P16
10	災害時初動情報 FAX	<ul style="list-style-type: none"> ・市町保健活動体制等の確認・検討 ・県庁健康づくり支援課へ応援要請等の報告用 	10 P17
11	災害時保健活動現地動員計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市町保健活動体制等の確認・検討 ・県庁健康づくり支援課へ応援要請等の報告用 	11 P20
12	災害時保健活動現地動員計画(栄養・食生活支援)	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養・食生活支援活動の必要性を検討し、必要な場合は栄養士動員計画を作成。 ・県庁健康づくり支援課へ応援要請等の報告用 	12 P21
13	健康相談票	<ul style="list-style-type: none"> ・健康相談用(電話・面接) ・保健活動実施の記録用紙 	13 P22
14	健康相談票、経過用紙	<ul style="list-style-type: none"> ・健康相談用(電話・面接) ・保健活動実施の記録用紙 	14 P23
15	巡回健康相談実施集計表	保健活動のまとめ、整理、報告用	15 P24
16	健康調査票	市町と連携し、地域や避難所等における住民の健康状況等を把握	16 P25
17	食料供給支援要請票・送付書兼納品把握票	支援物質:アレルギー、病態に配慮した食品について県庁へ応援要請	17 P26
18	食生活支援活動確認・検討票	市町、派遣栄養士と打ち合わせを実施し、栄養・食生活支援活動内容の課題検討・対応方針の決定	18 P27
19	栄養摂取等状況調査票	栄養士が巡回指導を実施し、食事状況を確認の上、指導助言	19 P28
20	被災者個別栄養指導計画・報告一覧	食事に配慮が必要な人のための栄養・食生活支援計画を作成	20 P29
21	被災者健康・栄養相談記録票	食事に配慮が必要な人について、個別栄養指導(情報提供)を実施	21 P30

この用紙は、避難所が立ち上がった直後に使用するものです。

避難所健康管理マニュアル アセスメントシート

平成 年 月 日 () 時 分 現在

避難所名：		避難所連絡先：TEL		FAX	
	リーダー連絡先	氏名	TEL:	FAX:	
記入者名(所属)：			() 記入者連絡先：		

重要度 凡例：◎全員、○50%以上、△50%未満、×皆無

◎	名簿	有 ・ 無	受診人数 () 人		
◎	人数全体	人	発熱(38℃以上)()人、咳()人、嘔吐()人、下痢()人		
			介護()人、呼吸器疾患()人、呼吸困難()人		
◎	飲料水	◎・○・△・×	水道 ・ 給水車 ・ 井戸		
◎	食事	◎・○・△・×			
	市町への食事要望量	人分			
◎	電気	◎・○・△・×	通常 ・ 発電機		
◎	毛布	◎・○・△・×			
◎	暖房・冷房	◎・○・△・×			
◎	衛生状態	◎・○・△・×	生活用水・手洗い等	◎・○・△・×	下水 有 ・ 無
◎	トイレ	◎・○・△・×	水洗・汲み取り	◎・○・△・×	清掃・管理 ◎・○・△・×
○	内科ニーズ	無・少・中・多			
○	外科ニーズ	無・少・中・多			
○	小児科ニーズ	無・少・中・多	1歳未満()人		
○	精神科ニーズ	無・少・中・多	不眠()人 精神科疾患()人 認知症(疑い含む)()人		
○	()ニーズ	無・少・中・多			
○	妊婦情報	無・少・中・多	()力月()人		
	歯科ニーズ (該当するものに○)	無・少・中・多			
		痛み以外(入れ歯をなくした等)			
	要配慮者	要援護者	全介助()人 一部介助()人		
		要医療	酸素()人 透析()人		
○	交通・周囲の環境				
	その他 (例)在宅被災者 医薬品調達 スリッパの調達				

避難所情報 日報
(共通様式)

活動日	記載者(所属・職名)
年 月 日	

避難所活動の目的:

- ・公衆衛生的立場から避難所での住民の生活を把握し、予測される問題と当面の解決方法、今後の課題と対策を検討する。
- ・個人や家族が被災による健康レベルの低下をできるだけ防ぐための生活行動が取れるよう援助する。

避難所の概況	避難所名	所在地(都道府県、市町村名)	避難者数	
	電話	FAX	昼: 人 夜: 人	
	スペース密度	過密・適度・余裕	施設の広さ	
	交通機関(避難所と外との交通手段)		施設の概要図(屋内・外の施設、連絡系統などを含む) 初回は裏面に大きく記載すること	
組織や活動	管理統括・代表者の情報			
	氏名(立場)			
	その他			
	連絡体制 / 指揮・命令系統			
	自主組織	有()・無		
	外部支援	有(チーム数: 、人数: 人)・無 有の場合、職種()		
ボランティア	有(チーム数: 、人数: 人)・無 有の場合、職種()			
環境的側面	医療の提供状況			
	救護所	有・無、巡回診療 有・無		
	地域の医師との連携	有・無、その他 有()・無		
	現在の状況		対応	
	ライフライン	電気	不通・開通・予定()	
		ガス	不通・開通・予定()	
		水道	不通・開通・予定()	
		飲料水	不通・開通・予定()	
		固定電話	不通・開通・予定()	
		携帯電話	不通・開通・予定()	
ガソリン供給状況		不可・大変困難・やや困難・可		
設備状況と衛生面	洗濯機	無・有(使用可・使用不可)		
	冷蔵庫	無・有(使用可・使用不可)		
	冷暖房	無・有(使用可・使用不可)		
	照明	無・有(使用可・使用不可)		
	調理設備	無・有(使用可・使用不可)		
		使用不可・使用可(箇所)		
	トイレ	清掃・くみ取り 不良・普・良		
	手洗い場	無・有 手指消毒 無・有		
生活環境の衛生面	風呂	無・有(清掃状況等:)		
	喫煙所	無・有(分煙: 無・有)		
	清掃状況	不良・普・良	床の清掃 無・有	
	ゴミ収集場所	無・有	履き替え 無・有	
	換気・温度・湿度等	空調管理	不適・適	
	粉塵	無・有	生活騒音 不適・適	
	寝具乾燥対策	無・有		
	ペット対策	無・有	ペットの収容場所 無・有	
食事の供給	1日の食事回数	1回・2回・3回		
	炊き出し	無・有	残品処理 不適・適	

避難所情報 日報
(共通様式)裏面

活動日	記載者(所属・職名)
年 月 日	

避難所活動の目的:

- ・公衆衛生的立場から避難所での住民の生活を把握し、予測される問題と当面の解決方法、今後の課題と対策を検討する。
- ・個人や家族が被災による健康レベルの低下をできるだけ防ぐための生活行動が取れるよう援助する。

避難所名		
------	--	--

施設の広さ

施設の概要図(屋内・外の施設、連絡系統などを含む)

避難所避難者の状況 日報
(共通様式)

活動日	記載者(所属・職名)
年 月 日	

避難所活動の目的:

- ・公衆衛生的立場から避難所での住民の生活を把握し、予測される問題と当面の解決方法、今後の課題と対策を検討する。
- ・個人や家族が被災による健康レベルの低下をできるだけ防ぐための生活行動が取れるよう援助する。

		本日の状態				対応・特記事項	
配慮を要する人	高齢者	うち65歳以上 人	人			専用部屋が必要な人の室確保の有・無	
	妊婦	うち要介護状態 人	人				
	産婦	うち予定日2週間以内 人	人				
	乳児	うち新生児 人	人				
	幼児・児童	うち身体障害児 人	人				
		うち知的障害児 人	人				
		うち発達障害児 人	人				
	障害のある人	うち身体 人	人				
		うち知的 人	人				
		うち精神 人	人				
	うち発達 人	人					
	難病患者	人					
	在宅酸素療養者	人					
	人工透析者	人					
	アレルギー疾患児・者	人				(アレルギーの内容)	
	メンタル面	人					
	外国人	人					
服薬者数	服薬者	うち高血圧治療薬 人	人				
		うち糖尿病治療薬 人	人				
		うち向精神薬 人	人				
		その他 人	人				
有症状者数	人数の把握	総数	うち乳児・幼児	うち妊婦	うち高齢者	有症状者対応・特記事項	
	感染症症状	下痢	人	人	人	人	
		嘔吐	人	人	人	人	
		発熱	人	人	人	人	
		咳	人	人	人	人	
	その他	便秘	人	人	人	人	
		食欲不振	人	人	人	人	
		頭痛	人	人	人	人	
		不眠	人	人	人	人	
		不安	人	人	人	人	
防疫的側面	食中毒様症状 (下痢、嘔吐など)					トイレ塩素消毒実施 有・無	
	風邪様症状 (咳・発熱など)					アルコール手指消毒薬配置 有・無	
	感染症症状、その他					マスクの配置 有・無	
まとめ	全体の健康状態						
	活動内容						
	アセスメント						
	課題/申し送り						

避難所健康管理マニュアル 生活・環境のチェックリスト

日時： 年 月 日 ()
 避難所名： 避難所統括者名：
 チェック実施者名(所属)： () 実施者連絡先：

1 居住環境、空調・換気

温度管理	室温は適切か。(温度 ℃、湿度 ℃) 換気に努めているか	はい	いいえ
	季節に応じた衣類を身につけられているか	はい	いいえ
	暑さ、寒さ対策は、取られているか	はい	いいえ
寝具等の清潔保持	室内は土足厳禁とし、布団を敷くところと通路を分けているか。マーキング等	はい	いいえ
	入室時に埃等を払うように、呼びかけているか	はい	いいえ
	毛布等寝具類は敷きっぱなしにせず、日光干し、通風乾燥しているか	はい	いいえ
	寝具の交換は、曜日を決めて計画的に実施しているか	はい	いいえ
	通路確保及び身の回りの整理整頓は実施しているか	はい	いいえ
蚊、ハ、カミ、ゴキブリ	靴下、靴を履いてもらっているか(裸足でないこと)	はい	いいえ
	ゴミを捨てる場所を決めて、封をしているか	はい	いいえ
	定期的な、避難所を清掃し、残飯等適切に管理しているか	はい	いいえ
	夏季には、出入り口や窓に網を張ったり、適切な殺虫剤の使用しているか	はい	いいえ

2 水分・飲料水

水分補給をしやすいようにしているか	はい	いいえ
飲料用に、生水の使用をしていないか	はい	いいえ
給水車の汲み置き水は、当日給水の物を使用してるか	はい	いいえ
井戸水、湧水を使用するときは、煮沸等殺菌消毒しているか	はい	いいえ

3 栄養管理

栄養バランスに留意しているか	はい	いいえ
治療を目的とした栄養管理、食事療法が必要な場合は受診につなげているか	はい	いいえ
アレルギーの成分が表示されている食品について注意を促しているか	はい	いいえ

4 食中毒予防

調理場の確保、衛生管理(手指消毒を含む)をしているか	はい	いいえ
食事前やトイレ後は、流水で必ず手洗いしているか	はい	いいえ
配給食の提供前に、賞味期限、消費期限を確認しているか	はい	いいえ
配付食品は早めに食べてもらうよう呼びかけているか	はい	いいえ
残った食品は回収し、破棄しているか	はい	いいえ
食料は、冷暗所での保管等、適切な温度管理をしているか	はい	いいえ
加熱が必要な食品は、中心部までしっかり加熱してるか	はい	いいえ
調理器具は使用後洗浄しているか	はい	いいえ
下痢や嘔吐の症状がある人は、食品を取り扱う作業をしていないか	はい	いいえ

5 入浴ができない場合

温かいおしぼりやタオルで体を拭いたり、足浴等実施しているか	はい	いいえ
-------------------------------	----	-----

6 避難所回りの環境

トイレの衛生	トイレは水洗で自動に流すことができるか	はい	いいえ
	利用者に応じた手洗い場とトイレを設置しているか	はい	いいえ
	男性用・女性用に分けているか	はい	いいえ
	使用後は、手指を石鹸で洗えるようにしているか	はい	いいえ
	ペーパータオルを設置しているか	はい	いいえ
	共用タオル、手洗いバケツの設置をしていないか	はい	いいえ
	当番を決めるなど、定期的に清掃、消毒しているか	はい	いいえ
飲酒禁煙	周囲の人に迷惑がかからないように、ルールを決めているか	はい	いいえ
	受動喫煙防止及び火災防止のため、原則全面禁煙にしているか	はい	いいえ
ゴミ	おむつ等分別して、定期的に収集しているか	はい	いいえ
	避難所外の閉鎖された場所で管理しているか	はい	いいえ
動物(犬・猫)	預かり場所、飼育場所の設置、管理、指定を決めているか	はい	いいえ
	犬にかまれた時の対応を決めているか	はい	いいえ

避難所健康管理マニュアル 疾病予防のチェックリスト

日時： 年 月 日 ()	
避難所名： _____	避難所健康管理統括者名： _____
チェック実施者名(所属)： _____ ()	実施者連絡先： _____

1 感染症流行の予防

避難所に入出入りする場合に手洗い、うがいを実施しているか	はい	いいえ
手洗いでできない場合は、擦り込み式エタノール剤等利用しているか	はい	いいえ
発熱・咳症状がある場合は、マスクを着用し、長引くときは受診しているか	はい	いいえ
発熱、咳、下痢、嘔吐の症状がある者はいないか	はい	いいえ
がれき等撤去の際は、長袖、長ズボン、長靴、ゴム手袋を使用しているか	はい	いいえ
有症状者の部屋を必要時、わけているか	はい	いいえ
下痢、吐物の処理は適切に行われているか	はい	いいえ

2 粉じんの吸引予防

粉じんの吸引を防ぐため、マスク着用を行っているか	はい	いいえ
粉じんがつきにくい衣服を身につけているか	はい	いいえ
作業後、咳、痰、息切れが続く者はいないか	はい	いいえ

3 慢性疾患の悪化予防

高血圧、喘息、糖尿病、腎疾患、てんかん、統合失調症等の治療中の者はいるか	はい	いいえ
継続的な服薬と日々の食事の栄養管理等必要な者はいるか	はい	いいえ

4 エコノミークラス症候群予防

定期的に体を動かし(1日2～3回のラジオ体操推奨)、水分補給を行っているか	はい	いいえ
車内生活者はいるか	はい	いいえ

5 生活不活発病予防

身の回りのことは自分でやってもらうようにしているか	はい	いいえ
高齢者がひとりで動ける環境か。杖は足りているか	はい	いいえ

6 熱中症予防

水分をこまめに取る。スポーツドリンク、塩分入りの水など	はい	いいえ
できるだけ涼しい場所で過ごしているか	はい	いいえ
高齢者、乳幼児に配慮しているか	はい	いいえ
熱中症の症状が疑われる者はいるか	はい	いいえ

7 低体温症予防

手足が冷たく、震えたり等症状のある者はいないか	はい	いいえ
-------------------------	----	-----

8 口腔衛生管理

歯磨きができるように配慮しているか	はい	いいえ
食事時間を決め、頻回な飲食をさせているか	はい	いいえ

9 一酸化炭素中毒予防

換気の良くない場所で、発電機等使用してないか	はい	いいえ
------------------------	----	-----

10 アレルギー疾患の悪化予防

アレルギー疾患がある者はいるか	はい	いいえ
-----------------	----	-----

11 救急受診体制

具合が悪い場合、すぐに受診できるよう配慮されているか	はい	いいえ
----------------------------	----	-----

12 こころの健康保持

不眠、食欲低下、イライラしている者に対して、受診を勧めているか	はい	いいえ
てんかん、統合失調症等の治療中の者に、医師等への診療を促しているか	はい	いいえ

避難所等における感染評価(症候群サーベランス)用紙

- 避難者は①避難所到着時②できれば毎日(あるいは定期的2~3日毎等)③病院移送時に評価
- スタッフは毎日、自己評価

年	月	日	名前
あてはまるものの数字に○をつけてください。			

1. 熱(38度以上)がある、または熱っぽい
2. 上気道炎症状(咳、鼻汁、咽頭痛など)がある
3. インフルエンザ様症状(全身がだるい、寒気、頭痛、関節痛・筋肉痛など)がある
4. 咳があり、血がまざった痰がでる
5. からだにぶつぶつ(発疹)が出ている
6. からだにぶつぶつ(発疹)が出ていて、かゆみや痛みがある
7. 唇や口の周りにぶつぶつ(発疹)が出ていて、痛みがある
8. 首がかたい感じがしたり、痛かったりする
9. 下痢便(水のような便、柔らかい便、形のない便、噴き出すような便など)が出た
10. 吐いた、または吐き気がする
11. おなかが痛く、便に血がまざっている
12. 目が赤く、目やにが出ている
13. 創などがあり、膿が出たり、赤かったり、腫れていたたり、痛かったりする
14. 小児である→何歳(何ヶ月)? ()

※以下は、初回評価のみ

15. この3ヶ月間に入院したことがあり"多剤耐性菌(MRSAなど)"があるといわれた
16. 抗菌薬を飲んでいる(感染症の治療を受けている)→なに?()
17. 被災後、予防注射を受けた→なに?()いつ?()

感染評価に基づく感染対策

全員に「標準予防策」を行う。次の場合に「接触予防策」「飛沫予防策」「空気予防策」を追加。

- 1のみ【インフルエンザやその他の感染症?】→とりあえず「飛沫予防策」を追加
- 1、2、3の1つ以上【インフルエンザ等?】→「飛沫予防策」を追加
- 1、2、3の1つ以上と14【小児呼吸器感染症?】→「接触予防策」と「飛沫予防策」を追加
- 4【結核?】→「空気予防策」を追加し病院搬送を検討
- 1と5【水痘や麻疹等?】→「空気予防策」を追加し病院搬送を検討
- 1と5と8【細菌性髄膜炎等?】→「飛沫予防策」を追加し病院搬送を検討
- 6のみ【带状疱疹や疥癬等?】→「接触予防策」を追加
- 7のみ【単純ヘルペスウイルス感染症?】→「接触予防策」を追加
- 9または10【ノロウイルス感染症やその他の消化器感染症?】→「接触予防策」を追加
- 11【細菌性の急性下痢症?】→「接触予防策」を追加し病院搬送を検討
- 12のみ【ウイルス性結膜炎?】→「接触予防策」を追加
- 13のみ【創傷関連感染症?】→「接触予防策」を追加

感染症病床確保状況

確認者氏名()

確認日時	平成 年 月 日() 時 分現在
報告者(連絡者)氏名	

〈県内感染症指定医療機関〉

医療機関名	電話番号	担当者名	使用可能病床数	備考
成田赤十字病院				
千葉市立青葉病院				
千葉大学医学部附属病院				
東京ベイ・浦安市川医療センター				
船橋中央病院				
松戸市立病院				
旭中央病院				
高根病院				
いすみ医療センター				
富山町国保病院				
君津中央病院				

〈県内その他収容可能医療機関〉

医療機関名	電話番号	担当者名	使用可能病床数	備考

〈県外医療機関〉

医療機関名	電話番号	担当者名	使用可能病床数	備考

F A X 送付票 (送り状は不要です)

疾病対策課感染症対策室 御中

施設内集団発生 探知速報

健康福祉センター（保健所）名	習志野保健所
担当者名	

<探知>

探知日時	平成 年 月 日 時 分
通報者氏名	
通報者所属	

<発生施設>

施設名	
施設所在地	Tel

<患者発生状況>

発生状況概要 (いつ頃から どのような発生 状況だったか。)	
主な症状 ¹⁾	
発症者数	利用者※： 人中 人 職 員： 人中 人
入院者の有無	無 ・ 有 (状況：)

※入所者、児童等

<その他の情報>

※地域名は、市町名を記入する。場合によって被害が集中している、地区名を記入する。

地域活動記録

発信元() Fax: Eメール: () →送信先()

・災害発生後の地域の健康課題を把握・解決するのに用い、必要に応じて情報集約場所への報告に用いる

活動チーム(保・看・栄・精・事・歯・医・他 _____ 名)

地域名		記録日時 年 月 日 時			記録者 (立場)
被害状況	死傷者数 人 その他(住民の様子・家屋状況・がけ崩れ等)	負傷者数 人	対策本部の組織(数・場所)		
住民の避難状況	避難所数 _____ ヶ所(備考 _____) 場所: _____ 人(状況 _____) 場所: _____ 人(状況 _____) 場所: _____ 人(状況 _____) 場所: _____ 人(状況 _____)	避難していない人の状況			組織活動等の状況
組織的活動状況	班・組織づくり、リーダーの有無等の状況				
ライフライン・交通の状況	可・不可	不可の場所	見通し等	遮断道路・通行上の注意・交通機関の機能など ガソリン供給状況: _____	
	固定電話				
	携帯電話				
	電気				
	水道				
ガス					
保健医療福祉の機能やマンパワーの稼働状況	医療機関・救護所(数・場所・名称)			ボランティアを含むマンパワーの種類と数 名称(個人・団体)、人数、支援内容等	
	福祉機関(数・場所・名称)				
	在宅ケア(数・場所・名称)				
	保健活動(責任者: _____)				
必要物品	不足している医薬品・衛生用品など			依頼・調達方法	
情報伝達	住民への情報・伝達すべき内容			要援護者へ配慮した情報伝達手段・内容	
課題と対策	住民のニーズ・優先すべき健康課題			必要な援助・対策	
印象・その他申し送り事項等					

※災害時保健活動責任者に確認した
活動内容を記入します。

様式 9

管内における保健活動計画

平成 年 月 日から ~ 平成 年 月 日

市町村	保健活動方針	活 動 内 容
	(誰)に確認	
	(誰)に確認	
	(誰)に確認	
	(誰)に確認	
	(誰)に確認	
	(誰)に確認	
	(誰)に確認	
	(誰)に確認	
	(誰)に確認	
	(誰)に確認	
	誰)に確認	
	誰)に確認	

参照:習志野健康福祉センター地域保健一保健活動一様式2

災害時初動情報 (FAX 送信) 市保健師活動体制等

県へ報告

報告経路: () 市 → 印旛保健所 → 県庁 () 課

第 報 (前回の第 報の追加情報を送信します)

施設名			発信者		
発信日時	年 月 日 時 分				
活動体制					
機関名	確認内容	保健師		栄養士	
印旛保健所	稼働状況	人 / 人中 内訳:		人 / 人中 内訳:	
	安否状況				
	派遣要請	1 なし 2 あり⇒	人	1 なし 2 あり⇒	人
成田市	稼働状況	人 / 人中 内訳:		人 / 人中 内訳:	
	安否状況				
	派遣要請	1 なし 2 あり⇒	人	1 なし 2 あり⇒	人
佐倉市	稼働状況	人 / 人中 内訳:		人 / 人中 内訳:	
	安否状況				
	派遣要請	1 なし 2 あり⇒	人	1 なし 2 あり⇒	人
四街道市	稼働状況	人 / 人中 内訳:		人 / 人中 内訳:	
	安否状況				
	派遣要請	1 なし 2 あり⇒	人	1 なし 2 あり⇒	人
・活動の現況 <被災地域> <避難所> <その他>					
要望事項:					

災害時初動情報 (FAX 送信) 市保健師活動体制等

県へ報告

報告経路: () 市 → 印旛保健所 → 県庁 () 課

第 報 (前回の第 報の追加情報を送信します)

施設名			発信者		
発信日時	年 月 日 時 分				
活動体制					
機関名	確認内容	保健師		栄養士	
八街市	稼働状況	人 / 人中 内訳:		人 / 人中 内訳:	
	安否状況				
	派遣要請	1 なし 2 あり⇒	人	1 なし 2 あり⇒	人
印西市	稼働状況	人 / 人中 内訳:		人 / 人中 内訳:	
	安否状況				
	派遣要請	1 なし 2 あり⇒	人	1 なし 2 あり⇒	人
白井市	稼働状況	人 / 人中 内訳:		人 / 人中 内訳:	
	安否状況				
	派遣要請	1 なし 2 あり⇒	人	1 なし 2 あり⇒	人
富里市	稼働状況	人 / 人中 内訳:		人 / 人中 内訳:	
	安否状況				
	派遣要請	1 なし 2 あり⇒	人	1 なし 2 あり⇒	人
・活動の現況 <被災地域> <避難所> <その他>					
要望事項:					

災害時初動情報 (FAX 送信) 町保健師活動体制等

県へ報告

報告経路: () 市 → 印旛保健所 → 県庁 () 課

第 報 (前回の第 報の追加情報を送信します)

施設名			発信者		
発信日時	年 月 日 時 分				
活動体制					
機関名	確認内容	保健師		栄養士	
酒々井町	稼働状況	人 / 人中 内訳:		人 / 人中 内訳:	
	安否状況				
	派遣要請	1 なし 2 あり⇒	人	1 なし 2 あり⇒	人
栄町	稼働状況	人 / 人中 内訳:		人 / 人中 内訳:	
	安否状況				
	派遣要請	1 なし 2 あり⇒	人	1 なし 2 あり⇒	人
	稼働状況	人 / 人中 内訳:		人 / 人中 内訳:	
	安否状況				
	派遣要請	1 なし 2 あり⇒	人	1 なし 2 あり⇒	人
	稼働状況	人 / 人中 内訳:		人 / 人中 内訳:	
	安否状況				
	派遣要請	1 なし 2 あり⇒	人	1 なし 2 あり⇒	人
・活動の現況					
<被災地域>					
<避難所>					
<その他>					
要望事項:					

災害時保健活動現地動員計画

県庁(課)へ報告

報告年月日 年 月 日 () 時 分

【市町村名】 健康福祉センター

	市町村保健活動の 現状及び方針	健康福祉センター 保健活動の方針	他市町村等 の応援体制 (予定含む)	保健師等派遣要請希望の有無		
				職種	人数	派遣場所
避難所・仮設住宅等	【避難所・仮設住宅】 開設数 _____ 避難者数 _____ <活動方針・内容> 巡回・駐在・その他 <課題>	<情報収集等の方法> <活動方針> ○市町村への直接的支援 有・無 ○支援内容				派遣期間 勤務時間等
居宅	<現状> <活動方針・内容> <課題> <現状>	<情報収集等の方法> <活動方針> ○市町村への直接的支援 有・無 ○支援内容				
その他	<活動方針・内容> <課題>	<情報収集等の方法> <活動方針> ○市町村への直接的支援 有・無 ○支援内容				

【留意事項】

- 健康福祉センターは、管内被災市町村と協議して保健師、管理栄養士、歯科衛生士等の動員計画を策定し、また、随時修正して健康づくり支援課に提出する。
- その他の項目は、避難所、仮設住宅、居宅以外の施設、相談コーナー等について記載する。

FAX送付先 千葉県健康づくり支援課(栄養) 043-225-0322

災害時保健活動現地動員計画(栄養・食生活支援)

作成年月日 : 平成 年 月 日

保健所名	
記入者職・氏名	

送付枚数	枚目 / 枚
------	--------

【市町村名 _____】 市町村栄養士活動人数: _____ 人

区分 (○をつける)	市町村保健活動(栄養・食支援)の 現状・方針	保健所の活動方針	栄養士等派遣要請希望の有無:				
			職種	人数	派遣場所		
(避難所・仮設住宅・居室・その他) <現状> (避難所・仮設住宅)開設数 避難者数 <活動方針・内容> 巡回・駐在・その他 <課題>							

※ 情報・企画セッションを通じて把握した被災状況や栄養士の活動状況を整理し、県へ栄養士の派遣要請をする。

通信欄

健康相談票(共通様式)		方法 ・面接 ・訪問 ・電話 ・その他 ()		対象者 乳児 幼児 妊婦 産婦 高齢者 障害者 その他()		担当者(自治体名)	
初回・()回						相談日 年 月 日	
保管先						時間	
						場所	
基本的な状況	氏名(フリガナ)		性別	生年月日		年齢	
			男・女	M・T・S・H 年 月 日		歳	
	被災前住所		連絡先		避難場所		
	①現住所		連絡先		自宅 自宅外:車・テント・避難所 (避難所名:)		
	②新住所		連絡先		家族状況		
	情報源、把握の契機/相談者がいる場合、本人との関係・連絡先				独居・高齢者独居・高齢者のみ世帯 家族問題あり()		
被災の状況				制度の利用状況			
家に帰れない理由		自宅倒壊・ライフライン不通・避難勧告・精神的要因(恐怖など) その他()		・介護保険(介護度) ・身体障害者手帳(級) ・療育手帳(級) ・精神保健福祉手帳(級) ・その他()			
身体的・精神的な状況	既往歴		現在治療中の病気		内服薬		
	高血圧、脳血管疾患、 高脂血症、糖尿病、 心疾患、肝疾患、 腎疾患、精神疾患、 結核、難病、 アレルギー、 その他 ()		高血圧、高脂血症、 糖尿病、心疾患、 肝疾患、腎疾患、 精神疾患、結核、 難病、アレルギー、 その他 ()		なし・あり(中断・継続) 内服薬名()		
					医療器材・器具		医療機関名
					在宅酸素・人工透析 その他()		被災前: 被災後:
					食事制限		血圧測定値
					なし・あり:内容() 水分()		最高血圧: 最低血圧:
				乳幼児栄養状況			
現在の状態(自覚症状ごとに発症時期・持続・転帰を記載)				具体的自覚症状(参考)			
				①頭痛・頭重②不眠③倦怠感④吐き気⑤めまい⑥動悸・息切れ⑦肩こり⑧目の症状⑨咽頭の症状⑩発熱⑪便秘/下痢⑫食欲⑬体重減少⑭精神運動減退/空虚感/不満足/決断力低下/焦燥感/ゆううつ/精神運動興奮/希望喪失/悲哀感⑮その他			
日常生活の状況	食事	保清	衣類の着脱	排泄	移動	意思疎通	その他
	自立						
	一部介助						
	全介助						
備考 必要器具など							
個別相談活動	相談内容			支援内容			
				今後の支援方針 解決 継続			

巡回健康相談実施集計表

年月日○	箇所数	巡回相談状況											従事者種別数													
		件数		高齢者	乳幼児	妊産婦	単身者	心身障害	要介護者	感染症	種別				保健師	精神保健福祉相談員	栄養士	歯科衛生士	その他							
		実	延								その他	その他	その他													
対応場所																										
避難所 仮設住宅 地域																										
避難所 仮設住宅 地域																										
避難所 仮設住宅 地域																										
避難所 仮設住宅 地域																										
避難所 仮設住宅 地域																										

「」市 健康調査票 (初回)

入居日 年 月 日 面接日 年 月 日 訪問者サイン

現住所

TEL

前住所

入居期間

面接	氏名	年齢	職業	受診状況	健康状態	自覚症状	睡眠	飲酒	食生活	はりあい	世代	状況	備考
		男 女		特になし 通院中 () 入院・入所 治療中断 《備考》	健康 良くも悪くもない 体調が悪い 再掲 咳・痰 (日前から)	なし 循環器症状(めまい・動悸・胸痛・他) 呼吸器症状() 消化器症状(下痢・便秘・胃腹痛・吐き気・他) 精神症状(ゆううつ・焦燥感・意欲の低下・興味の喪失・思考の抑制・他) 筋骨格系(肩こり・腰痛・他) その他(食欲の低下・疲れやすい・他)	良い 地震前/後 寝つきが悪い 途中/早期覚醒 熟睡感がない 眠剤・安定剤 地震前/後	飲まない 時々 毎日 朝 昼 夜 量	三食 味噌汁 惣菜・インスタント 外食 サプリメント	はりあい	乳幼 学童 成人 高齢	健康 認知 妊婦 衰たきり 生活 精神 感染 身体 難病 知的 その他() 再掲 介護保険	要対応・対応不要
		男 女		特になし 通院中 () 入院・入所 治療中断 《備考》	健康 良くも悪くもない 体調が悪い 再掲 咳・痰 (日前から)	なし 循環器症状(めまい・動悸・胸痛・他) 呼吸器症状() 消化器症状(下痢・便秘・胃腹痛・吐き気・他) 精神症状(ゆううつ・焦燥感・意欲の低下・興味の喪失・思考の抑制・他) 筋骨格系(肩こり・腰痛・他) その他(食欲の低下・疲れやすい・他)	良い 地震前/後 寝つきが悪い 途中/早期覚醒 熟睡感がない 眠剤・安定剤 地震前/後	飲まない 時々 毎日 朝 昼 夜 量	三食 味噌汁 惣菜・インスタント 外食 サプリメント	はりあい	乳幼 学童 成人 高齢	健康 認知 妊婦 衰たきり 生活 精神 感染 身体 難病 知的 その他() 再掲 介護保険	要対応・対応不要
		男 女		特になし 通院中 () 入院・入所 治療中断 《備考》	健康 良くも悪くもない 体調が悪い 再掲 咳・痰 (日前から)	なし 循環器症状(めまい・動悸・胸痛・他) 呼吸器症状() 消化器症状(下痢・便秘・胃腹痛・吐き気・他) 精神症状(ゆううつ・焦燥感・意欲の低下・興味の喪失・思考の抑制・他) 筋骨格系(肩こり・腰痛・他) その他(食欲の低下・疲れやすい・他)	良い 地震前/後 寝つきが悪い 途中/早期覚醒 熟睡感がない 眠剤・安定剤 地震前/後	飲まない 時々 毎日 朝 昼 夜 量	三食 味噌汁 惣菜・インスタント 外食 サプリメント	はりあい	乳幼 学童 成人 高齢	健康 認知 妊婦 衰たきり 生活 精神 感染 身体 難病 知的 その他() 再掲 介護保険	要対応・対応不要
ペット	犬	その他	緊急時連絡先:	再建の予定	1. 現在の自宅 2. 移転(場所を変えて自宅) 3. 公営住宅 4. 民間アパート 5. 未定	再建困難要因	備考	(本人との関係)					

食料供給支援要請票・送付書 兼 納品把握票

送付枚数
枚目 / 枚

★ アレルギーや病態に配慮した食品が調達できない場合に、御連絡ください

市町村名	
担当者氏名	
FAX番号	
電話番号	
発信日: / /	受信日: / /



印旛保健所栄養担当		①	②
FAX		受信日	/ /
047-475-5122		発信日	/ /

千葉県健康づくり支援課 栄養担当	受信日 / /
FAX	
043-225-0322	

【納品希望日】 月 日

【納品希望場所】施設名:

住所:

電話番号:

記入日:平成 年 月 日()

記入者氏名

区分	市町村記入欄					県庁記入欄	
	種別・食品名	具体的内容	人数	必要数	納品確認日	納品予定日	納品予定数
乳幼児用	ミルク						
	アレルギー用ミルク						
	ベビーフード・おかゆ						
	ベビーフード・おかず(カ月用)						
	ベビーフード・おかず(カ月用)						
	その他						
アレルギー者用	卵・乳・小麦・大豆 除去食品						
	米 除去食品						
	その他(除去食品)						
介護食	おかゆ(缶詰、レトルト)						
	濃厚流動食						
	そしゃく・嚥下困難者用食品						
	とろみ調整食品						
	水分補給ゼリー						
	その他						
慢性疾患患者・その他用	たんぱく調整食品						
	ビタミン補助食品(B群、A、C、マルチ)						
	その他のビタミン()						
	ミネラル補助食品(Fe、Ca、Mg)						
	その他のミネラル()						
	宗教上の禁忌食()						
その他							

※ 市町村からの支援要請を受け、県へ要請する。(市町村様式でも可)

管内市町村栄養・食生活支援活動確認及び検討票

送付枚数	枚目 / 枚
------	--------

保健所名	
記入者職・氏名	
対象市町村名	
情報源	情報・計画SEC経由/市から直接
ヒアリング対象者所属・氏名	

平成 年 月 日 時 現在

確認項目	現状・課題	対応方針	対応結果
市町村栄養士稼働状況			
避難所	1 設置状況 開設数 避難者数	ヶ所 人	
	2 食事供給状況の把握 ●食事回数 ●提供方法 (弁当・炊き出し等把 ●人材の把握 ●食品の不足状況 ●食品等衛生管理 ●栄養管理 ●栄養士による助言 指導の実施		
	3 食支援が必要な人の把握 ●乳幼児・、高齢者 内臓疾患等 ●個別の食事提供 ●個別指導の実施		
	4 その他		
居宅	1 ライフラインの状況 ●電気・ガス・上下水道		
	2 食支援が必要な人の把握 ●乳幼児・、高齢者 内臓疾患等 ●食事状況の把握 ●個別指導の実施		
	3 その他		

※ この様式は、確認項目を中心に管内市町村から得られた情報(市町村から直接入手した情報、または健康福祉センター内の情報・計画セクションから入手)を記入し今後の対応の検討に使用する。

避難所の栄養摂取等状況調査票 《保健所栄養士巡回活動用》

※無理に全部聞き取らないこと。現場の状況に十分配慮すること。

所属名

報告者

確認年月日	平成 年 月 日		
避難所名	避難所リーダー・職名等		
避難者数	スタッフ食数()	他提供食数()	
食事管理リーダー	無・有 氏名 (職種:)		
避難住民の状況	男()人 女()人 高齢者()人 乳幼児()人		
避難所の生活時間	起床時間: 時 分	消灯時間: 時 分	朝食時間: 時 分 夕食時間: 時 分
ライフライン 配置備品	・電気()・ガス()・水道()・下水道()・冷蔵庫() <ライフラインの凡例> ○:被害なし又は(ほぼ)復旧 △:一部復旧 ×:使用不可 -:情報なし		
食事内容 (成人)	(月 日 曜) 提供できているものに○	その他の聞き取り事項	
	朝 主食・味噌汁・主菜・副菜①・副菜②・果物・牛乳 昼 主食・味噌汁・主菜・副菜①・副菜②・果物・牛乳 夕 主食・味噌汁・主菜・副菜①・副菜②・果物・牛乳	① 仕出弁当導入: 有・無 朝・昼・夕 ② 1日1回以上の温かい料理の提供: 有・無	
	食事提供3回未満の理由	③ お粥の提供: 有・無 ④ 盛り付け量の調整: 有・無	
炊き出しの状況	<input type="checkbox"/> 炊き出し実施者と調理内容		
	朝 主食(被災者・ボランティア・自衛隊・その他)、副食(被災者・ボランティア・自衛隊・その他) 昼 主食(被災者・ボランティア・自衛隊・その他)、副食(被災者・ボランティア・自衛隊・その他) 夕 主食(被災者・ボランティア・自衛隊・その他)、副食(被災者・ボランティア・自衛隊・その他)		
	<input type="checkbox"/> 献立 あり・なし		
	<input type="checkbox"/> 調理スタッフ 名		
食事提供環境	マンパワーの状況	献立・栄養管理状況	設備・衛生管理状況
	輪番制や担当人数・職種を聞き取り	献立作成者や記録を聞き取り	<input type="checkbox"/> 冷蔵庫: 有・無 仕様: 0 <input type="checkbox"/> 調理室: 有・無 <input type="checkbox"/> 炊飯器: 電気・ガス・無 <input type="checkbox"/> 調理器具: 有・無
食事の課題 (調査者所感) 詳細が必要な場合は「様式9」を併用	<input type="checkbox"/> エネルギー源 (不足・良好・過多): <input type="checkbox"/> たんぱく源 (不足・良好・過多) <input type="checkbox"/> 野菜・果物 (不足・良好・過多) <input type="checkbox"/> 菓子・嗜好飲料 (不足・良好・過多)		
食料物資等の 要望			
困っている事や 特記事項等			
個別の食支援が 必要な方の状況	糖尿病	()人	()人
	高血圧	()人	()人
	腎臓病	()人	()人
	アレルギー	()人	()人
	離乳食	()人	()人
	嚥下障害	()人	()人
	整腸	()人	()人
	その他		
栄養機能食品の 配布状況			
引継事項 今後の計画 「様式9」併用の際は 省略可			
課題への 対応状況 ※対応後記入	参考資料の配布	参考資料1 <input type="checkbox"/> 配布済	参考資料2 <input type="checkbox"/> 配布済

被災者個別栄養指導計画・報告一覧

市町村名	避難所または地域名
保健所名	
記入者職氏名	

作成日 平成 年 月 日 ()

No.	対象者 氏名	年齢	性別	主な疾患	課題	栄養指導 実施日	指導内容	担当者	特記事項
			男・女						
			男・女						
			男・女						
			男・女						
			男・女						
			男・女						
			男・女						
			男・女						
			男・女						
			男・女						

※ 避難所・地域別に個別栄養指導(情報提供を含む)すべき対象者の抽出と実施管理に使用する。

被災者健康・栄養相談記録票 《個別》

相談日： 年 月 日

市町村名		No.:	担当者			
相談方法	①面 接 → 避難所名又は住所()					
	②電 話(番号:) ③その他:					
相談者氏名						
相談の対象者	① 本人 ② 本人以外→氏名() (続柄:)					
※以下は、対象者の方についてご記入下さい。						
生年月日	明治・大正・昭和・平成()年()月()日 ()歳					
対象者	乳幼児 妊婦 授乳婦 食物アレルギー 嚥下困難 入れ歯・歯・口腔内疾患等					
	糖尿病 ・ 高血圧 ・ 腎臓病 ・ その他()					
服薬の有無	服薬(あり ・ なし)		薬剤の残量			
	現在の服薬状況 (中断 ・ 継続)		・残量なし ・残り 日分 あり			
食事制限	食事制限 (有 ・ 無) 具体的な制限内容(減塩食 g/日以下 指示エネルギー kcal/日 ・ たんぱく質 g/日 その他					
現在の自覚症状	発熱 吐き気 便秘 下痢 食欲不振 味覚の変化 体重増加 体重減少 むくみ					
	入れ歯・歯の不具合() 口腔内の症状() その他()					
乳幼児の食事内容	乳児の場合(母乳 ・ 粉ミルク ・ 混合)					
	離乳食 (開始 ・ 未開始)					
子ども・成人・妊婦・授乳婦・高齢者の食事状況	調査した食事(前日の食事状況 ・ ここ2~3日の食事状況 ・ 他; 以下記入 ○:食べている △:時々食べている ×:食べていない					
		朝	昼	夕	間食	平常時との比較
	主食					多い 同じ位 少ない
	主菜					多い 同じ位 少ない
	野菜					多い 同じ位 少ない
	果物					多い 同じ位 少ない
	菓子					多い 同じ位 少ない
水分摂取状況	平常時と比べて(多い 同じ位 少ない)					
身体活動	1日座位 寝ていることが多い 身体を動かしている					
相談内容						
指導内容						
今後の支援計画	(解決 ・ 継続)					
自由記載欄						

10 参考資料

No.	用紙名	使用目的	ページ
1	避難所等活動用必要物品及び保管場所	避難所巡回活動前に準備する物品	P32
2	配給食品取扱時の注意点	避難所を管理している方、統括者に日配付	P33
3	食物アレルギーの注意喚起について	避難所を管理している方、統括者に日配付	P34
4	食品衛生上の注意点	避難所の方全員に配布、又は掲示し注意喚起に使用	P35
5	飲料水について次のことに注意しましょう	避難所の方全員に配布、又は掲示し注意喚起に使用	P36
6	できていますか？衛生的な手洗い	避難所の方全員に配布、又は掲示し注意喚起に使用	P37
7	守って防いでインフルエンザ	避難所の方全員に配布、又は掲示し注意喚起に使用	P38
8	みんなで予防インフルエンザ	避難所の方全員に配布、又は掲示し注意喚起に使用	P39
9	表:冬は特にご注意ノロウイルスによる食中毒 裏:ノロウイルスの感染を広げないために	避難所の方全員に配布、又は掲示し注意喚起に使用	P40,41
10	消毒液に作り方	避難所を管理している方、健康管理統括者に日配付	P42
11	吐物の処理～感染性胃腸炎を疑うときは～	避難所を管理している方、健康管理統括者に日配付	P43
12	次の症状があるときはすぐにスタッフにお知らせください	避難所の方全員に配布、又は掲示し注意喚起に使用	P53
13	エコノミークラス症候群予防のために	避難所の方全員に配布、又は掲示し注意喚起に使用	P54
14	表:生活機能低下を防ごう！生活不活発病に注意しましょう 裏:生活不活発病チェックリスト	避難所の方全員に配布、又は掲示し注意喚起に使用	P55,56
15	口腔機能向上のポイント	避難所の方全員に配布、又は掲示し注意喚起に使用	P57
16	被災状況下での公共の場所および施設におけるトイレ数	避難所設置の際の参考用	P58

保管場所:

服装等個人用

NO	品名	チェック
1	ビブス	
2	雨具	
3	ヘルメット	
4	ゴム長靴	
5	リュックサック	
6	軍手	
7	ウェストポーチ	
8	上履き(デスポ足袋)	
9	タオル	
10	水筒・非常食	
11	ティッシュペーパー	

保健・医療用品

NO	品名	チェック
1	血圧計	
2	聴診器	
3	体温計	
4	ゴム手袋	
5	予防用エプロン	
6	速乾性手指消毒	
7	アルコール綿(個包)	
8	脱脂綿	
9	消毒薬	
10	ワンタッチパット(滅菌ガーゼ)	
11	絆創膏	
12	弾性包帯・ネット包帯	
13	爪切り	
14	毛抜き	
15	ウエットティッシュ	
16	ティッシュペーパー	
17	災害時指導用パンフレット	

活動用品及び文房具等

NO	品名	チェック
1	懐中電灯・乾電池	
2	携帯電話	
3	充電器	
4	地図	
5	避難所・医療機関情報メモ	
6	ホイッスル	
7	バインダー(中開タイプ)	
8	メモ用紙又はノート	
9	筆記用具(ボールペンは首から下げられるタイプ)	
10	ファイル・付箋	
11	クリップ	
12	カッター	
13	ハサミ	
14	輪ゴム	
15	紙袋・ビニール袋	
16	物品一式を入れるカバン	

※予算あれば

17	デジタルカメラ	
18	インターネット継続パソコン	
20	携帯ラジオ	
21	電卓	

各種記録用紙等

NO	記録用紙等の種類	チェック
1	健康相談票	
2	健康相談時 要フォロー者リスト	
3	医療機関被災状況報告書	
4	市別避難所設置状況	
5		

避難所を管理されているみなさんへ

配給食品取扱い時の注意点

食中毒を防ぐため、食品の取扱いには十分に注意しましょう。
下痢や嘔吐の症状がある人は食品に直接触れる作業は行わないようにしましょう。

<受け入れ>

- ①温度管理が必要な食品は、適切な保管温度で搬送されてきたか確認しましょう。
- ②梱包を一部開封し、製造者・製造年月日・消費期限を確認しましょう。期限が過ぎている時は返品または廃棄してください。
- ③食品を一部開封し、味、におい等異常のないことを確認しましょう。異常を感じた場合は返品または廃棄してください。
- ④梱包にマジック等で消費期限を記入しましょう。

<保管>

- ①食品と食品以外の物資は場所を分けましょう。
- ②なるべく風通しの良い冷暗所に保管しましょう。
- ③やむを得ず屋外やテント内に保管をする場合は、直射日光が当たらないようにしましょう。

<配布>

- ①配布前には手洗いをしましょう。
- ②傷みやすい食品や受け入れ日時の早い食品から配布することを心がけましょう。
- ③配布前に再度消費期限を確認し、食品を一部開封し、味、におい等異常のないことを複数の人数で確認しましょう。少しでもおかしいと感じたものは配布を中止してください。
- ④必要以上に配布せず、保存食（缶詰・インスタント食品・レトルト食品）以外は取り置きしないように周知してください。

<廃棄>

- ①食べ残しは回収し、廃棄しましょう。
- ②回収した食品は外袋にマジックで廃棄と記入し、他の食品と区別しておきましょう。

印旛保健所 生活衛生課

参照:習志野健康福祉センター (生活衛生—食品衛生—別添1—①)

避難所を管理されているみなさんへ

食物アレルギーの注意喚起について

食物アレルギーは命にかかわることもあります。非常時には、本人が言い出せない場合やうっかり食べてしまう可能性があるため注意が必要です。

◎食品の配布時には、「食物アレルギーの有無」について一声かけ、確認しましょう。特に、小さなお子さんのいる家族には積極的に声がけを行いましょう。

◎問い合わせについては、表示や炊き出しを行っている人に確認して正確に伝えましょう。

◎アレルギー対応食品がある場合は優先的に配布しましょう。

食物アレルギーの原因となる物質（特定原材料）のうち、表示を義務付けられているものは卵・乳・小麦・落花生・えび・かに・そばの7品目です。

その他の20品目は義務ではないため表示されていない可能性があります。

その他の20品目

いくら・キウイフルーツ・くるみ・大豆・バナナ・やまいも・カシューナッツ・もも・ごま・さば・さけ・いか・鶏肉・豚肉・牛肉・りんご・まつたけ・あわび・オレンジ・ゼラチン

印旛保健所 生活衛生課

食品衛生上の注意点

- ①配布された食品はできるだけ早く食べましょう。
- ②期限表示のあるものは期限内に食べましょう。
- ③おにぎり、お弁当等は、期限内であっても保存条件によっては傷む場合があります。
- ④におい、味等に異常を感じた場合は食べるのを止めて避難所の管理者に報告してください。
- ⑤缶詰等の保存食品も開封後はできるだけ早く食べましょう。

<手洗い>

- ①水が使用できず、手洗いが困難な場合は、食べる際に食品に直接手が触れないように注意しましょう。ウェットティッシュやアルコール消毒液があれば活用しましょう。
- ②水が利用できる場合は、食品に触れる前に流水・石けんでの手洗いとアルコール消毒液を使用しましょう。

印旛保健所 生活衛生課

参照:習志野健康福祉センター (生活衛生—食品衛生—別添1—③)

飲料水について次のことに注意しましょう

◎避難所での水の使用（飲料水・生活用水）は、避難所の管理責任者（市町村等の担当者）の指示に従ってください。

◎給水車による水は、ポリタンクに給水日を記入し、できるだけ早く飲みましょう。

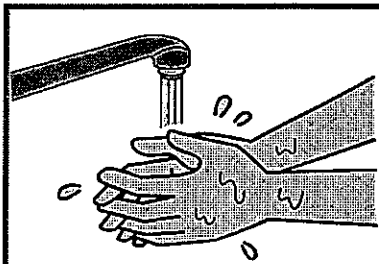
◎古くなった水は生活用水（トイレの洗浄水・洗濯等）に利用しましょう。

◎井戸水は、煮沸してから飲むようにしてください。

◎道路の破損による水道管からの漏出水は、飲まずに生活用水に利用しましょう。

印旛保健所 生活衛生課

できていますか？ 衛生的な手洗い

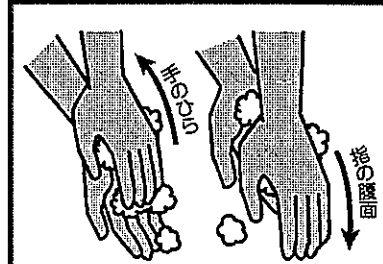


1 流水で手を洗う

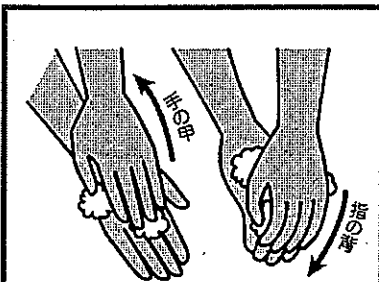


両手を洗うのに
十分な量の
洗浄剤を
取りましょう

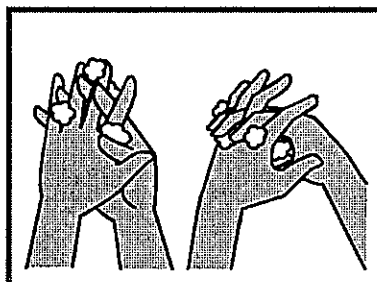
2 洗浄剤を手
取る



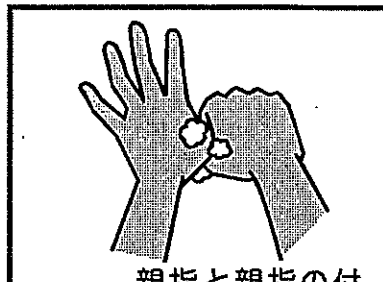
3 手のひら、
指の腹面を洗う



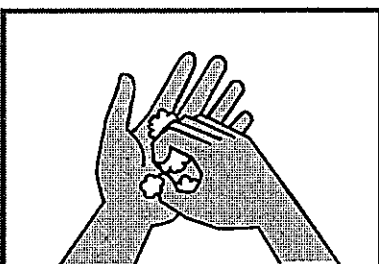
4 手の甲、
指の背を洗う



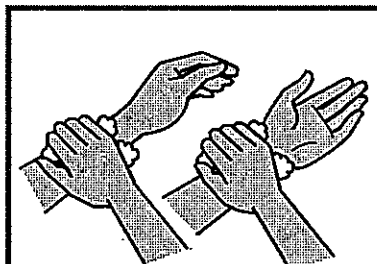
5 指の間(側面)、股
(付け根)を洗う



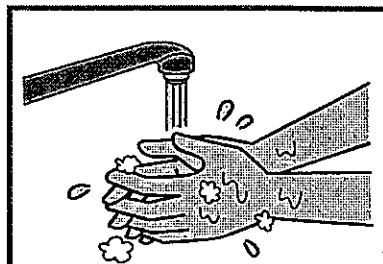
6 親指と親指の付
け根のふくら
んだ部分を洗う



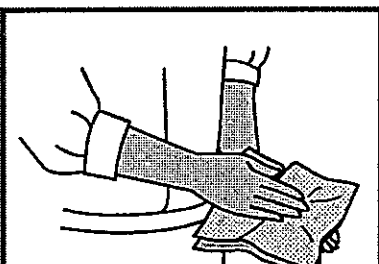
7 指先を洗う



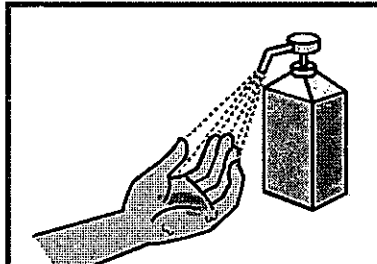
8 手首を洗う (内
側・側面・外側)



9 洗浄剤を十分な
流水でよく洗い
流す



10 手をふき乾燥さ
せる



11 アルコールによ
る消毒

2度洗いが効果的
です!
2~9までの手順を
くり返し2度洗いで
菌やウイルスを洗
い流しましょう。

※アルコールは、ノロウイルスの不活化にはあまり効果がないといわれています。

©公益社団法人日本食品衛生協会

参照:習志野健康福祉センター感染症-感染予防 資料1

(公社) 日本食品衛生協会 平成 26 年度食品衛生指導員巡回指導資料より

守って防いでインフルエンザ



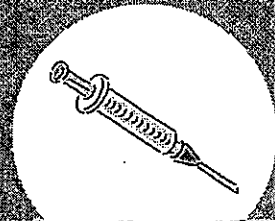
熱、せき、くしゃみのある人は
マスクをしましょう!



こまめに
手を洗い、うがい
をしましょう!



せき、くしゃみをするときは!
ティッシュやハンカチで
口や鼻を覆いましょう!



インフルエンザ予防のため、
予防接種を受けましょう!



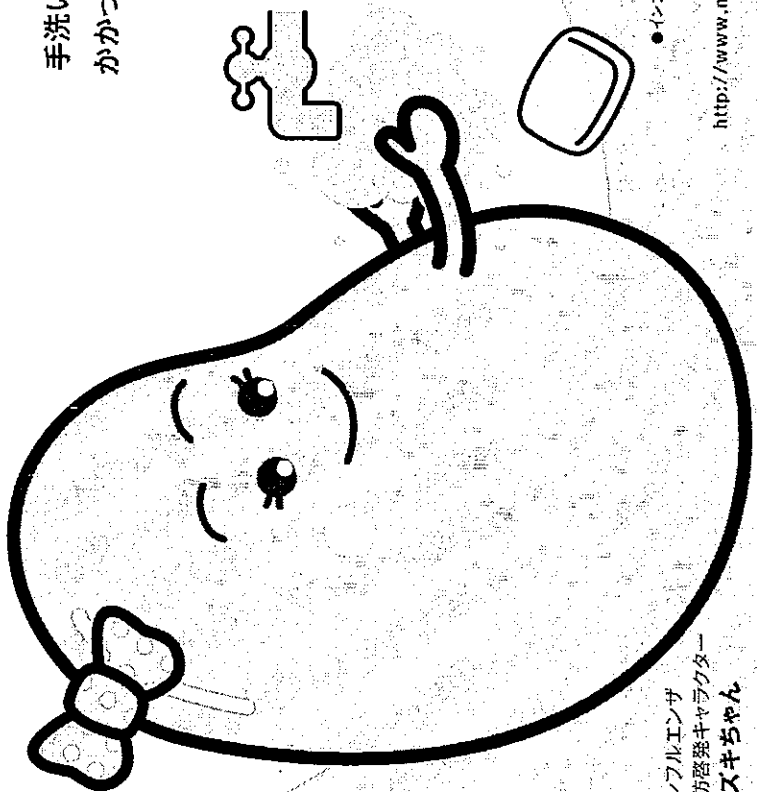
参照:習志野健康福祉センター感染症-感染予防 資料2

みんなの予防

手洗い

マスク

インフルエンザの予防には
みんなの「かからない」、「うつさない」という
気持ちがとても大切です。
手洗いでインフルエンザを予防して、
かかったら、マスク等せきエチケットも
忘れなくてください。



インフルエンザ
予防啓発キャラクター
アズキちゃん



千葉県マスクキャラクター
「チャーくん」

●インフルエンザに関する情報 [今冬 インフルエンザ](#)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

冬は特にご注意ください！

ノロウイルス

による

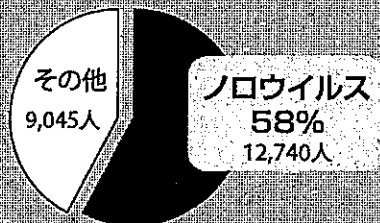
食中毒

食中毒は夏だけではありません。
ウイルスによる食中毒が
冬に 多発しています!!!

データでみると

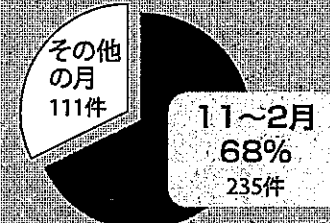
ノロウイルスによる食中毒は、

◆患者数で第1位



原因別の食中毒患者数(年間)

◆冬期に多い



ノロウイルス食中毒の発生時期別の件数(年間)

◆大規模な食中毒になりやすい



食中毒1件あたりの患者数

※出典:食中毒統計(平成21～25年の平均。病因物質が判明している食中毒に限る)

ノロウイルスによる食中毒予防のポイント

調理する人の

健康管理

- 普段から感染しないように食べものや家族の健康状態に注意する。
- 症状があるときは、食品を直接取扱う作業をしない。
- 症状があるときに、すぐに責任者に報告する仕組みをつくる。

作業前などの

手洗い

- 洗うタイミングは、
 - ◎トイレに行ったあと
 - ◎調理施設に入る前
 - ◎料理の盛付けの前
 - ◎次の調理作業に入る前
- 汚れの残りやすいところを
ていねいに
 - ◎指先、指の間、爪の間
 - ◎親指の周り
 - ◎手首

調理器具の

消毒

塩素消毒

洗剤などで十分に洗浄し、**塩素濃度200ppmの次亜塩素酸ナトリウム**で浸しながら拭く。

※消毒用エタノールや逆性石鹼(塩化ベンザルコニウム)はあまり効果がありません。

※洗剤などで十分に洗浄し、熱湯で加熱する方法も有効です。

詳しい情報は、厚生労働省ホームページ「ノロウイルスに関するQ&A」をご覧ください。
<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>

ノロウイルスQ&A

検索

ノロウイルスの感染を広げないために

食器・環境・ リネン類などの 消毒

- 感染者が使ったり、おう吐物が付いたものは、他のものと分けて洗浄・消毒します。
- 食器等は、食後すぐ、厨房に戻す前に塩素消毒液に十分浸し、消毒します。
- カーテン、衣類、ドアノブなども塩素消毒液などで消毒します。
 - 次亜塩素酸ナトリウムは金属腐食性があります。金属部（ドアノブなど）消毒後は十分に薬剤を拭き取りましょう。
- 洗濯するときは、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗いし、十分すすぎます。
 - 85℃で1分間以上の熱水洗濯や、塩素消毒液による消毒が有効です。
 - 高温の乾燥機などを使用すると、殺菌効果は高まります。

おう吐物などの 処理

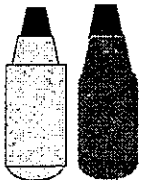
- 患者のおう吐物やおむつなどは、次のような方法で、すみやかに処理し、二次感染を防止しましょう。ノロウイルスは、乾燥すると空中に漂い、口に入って感染することがあります。
 - 使い捨てのマスクやガウン、手袋などを着用します。
 - ペーパータオル等で静かに拭き取り、塩素消毒後、水ぶきをします。
 - 拭き取ったおう吐物や手袋などは、ビニール袋に密閉して廃棄します。その際、できればビニール袋の中で1000ppmの塩素消毒液に浸します。
 - しぶきなどを吸い込まないようにします。
 - 終わったら、ていねいに手を洗います。

塩素消毒の方法

次亜塩素酸ナトリウムを水で薄めて「塩素消毒液」を作ります。なお、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤でも代用できます。

*濃度によって効果が異なりますので、正しく計りましょう。

製品の濃度	食器、カーテンなどの消毒・拭き取り 200ppmの濃度の塩素消毒液		おう吐物などの廃棄 (袋の中で廃棄物を浸す) 1000ppmの濃度の塩素消毒液	
	液の量	水の量	液の量	水の量
12%	5ml	3L	25ml	3L
6%	10ml	3L	50ml	3L
1%	60ml	3L	300ml	3L



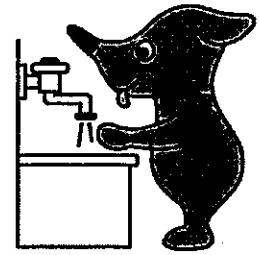
- ▶製品ごとに濃度が異なるので、表示をしっかりと確認しましょう。
- ▶次亜塩素酸ナトリウムは使用期限内のものを使用してください。
- ▶おう吐物などの酸性のものに直接原液をかけると、有毒ガスが発生することがありますので、必ず「使用上の注意」をよく確認してから使用してください。

ノロウイルスによる感染について

感染経路	症状
<食品からの感染> <ul style="list-style-type: none"> ●感染した人が調理などをして汚染された食品 ●ウイルスの蓄積した、加熱不十分な二枚貝など <人からの感染> <ul style="list-style-type: none"> ●患者のふん便やおう吐物からの二次感染 ●家庭や施設内などでの飛沫などによる感染 	<潜伏時間> 感染から発症まで24～48時間 <主な症状> <ul style="list-style-type: none"> ●吐き気、おう吐、下痢、腹痛、微熱が1～2日続く。感染しても症状のない場合や、軽い風邪のような症状のこともある。 ●乳幼児や高齢者は、おう吐物を吸い込むことによる肺炎や窒息にも要注意。

大規模災害における保健師の活動マニュアル媒体例(4)

消毒液の作り方 (次亜塩素酸ナトリウムの希釈液)



【0.02%次亜塩素酸ナトリウムの作り方】

原液の濃度	希釈倍数	原液	水
1%の場合	50倍にする	60ml	3ℓ
6%の場合	300倍にする	10ml	3ℓ
12%の場合	600倍にする	5ml	3ℓ

※出典 東京都福祉保健局「社会福祉施設等におけるノロウイルス対策標準マニュアル」(第3版)

【0.1%次亜塩素酸ナトリウムの作り方】

原液の濃度	希釈倍数	原液	水
1%の場合	10倍にする	330ml	3ℓ
6%の場合	60倍にする	50ml	3ℓ
12%の場合	120倍にする	25ml	3ℓ

※出典 東京都福祉保健局「社会福祉施設等におけるノロウイルス対策標準マニュアル」(第3版)

【次亜塩素酸ナトリウム原液の濃度】

濃度	商品名(例)
1%	ミルトン、ミルクボン、ピュリファン
5~6%	ジアノック、ハイター、ブリーチ
6%	ピューラックス、次亜塩6%「ヨシダ」、アサヒラック、テキサント
10%	ピューラックス・10、ハイポライト10、アサヒラック、アルポーズキレーネ
12%	シアエース、アサヒラック、バイラックス

※出典 東京都福祉保健局「社会福祉施設等におけるノロウイルス対策標準マニュアル」(第3版)

例) 市販の漂白剤(塩素濃度約5%)の場合: 漂白剤のキャップ1杯 約20~25ml
ペットボトルのキャップ 約5ml

対象	濃度	希釈方法
	希釈倍率	
●便や吐物が付着した床等 ●衣類などの漬け置き	0.1%	①500mlのペットボトル1本の水に10ml (ペットボトルのキャップ2杯)
	50倍	②5リットルの水に100ml (漂白剤のキャップ5杯)
●トイレの便座やドアノブ 手すり、床等 ●食器などの漬け置き	0.02%	①500mlのペットボトル1本の水に2ml (ペットボトルのキャップ半杯)
	250倍	②5リットルの水に20ml (漂白剤のキャップ1杯)

※出典 厚生労働省『社会福祉施設、介護老人保健施設におけるノロウイルスによる感染性胃腸炎の発生・まん延防止策の一層の徹底について』

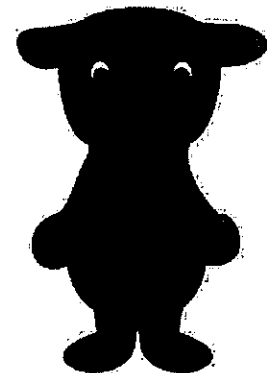
作成: 茨城県保健予防課健康危機管理対策室(ホームページ) (一部改変: 印旛保健所)

吐物の処理



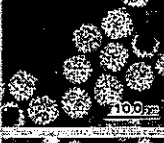


～感染性胃腸炎を疑うときは～

平成28年4月21日

印旛健康福祉センター 疾病対策課

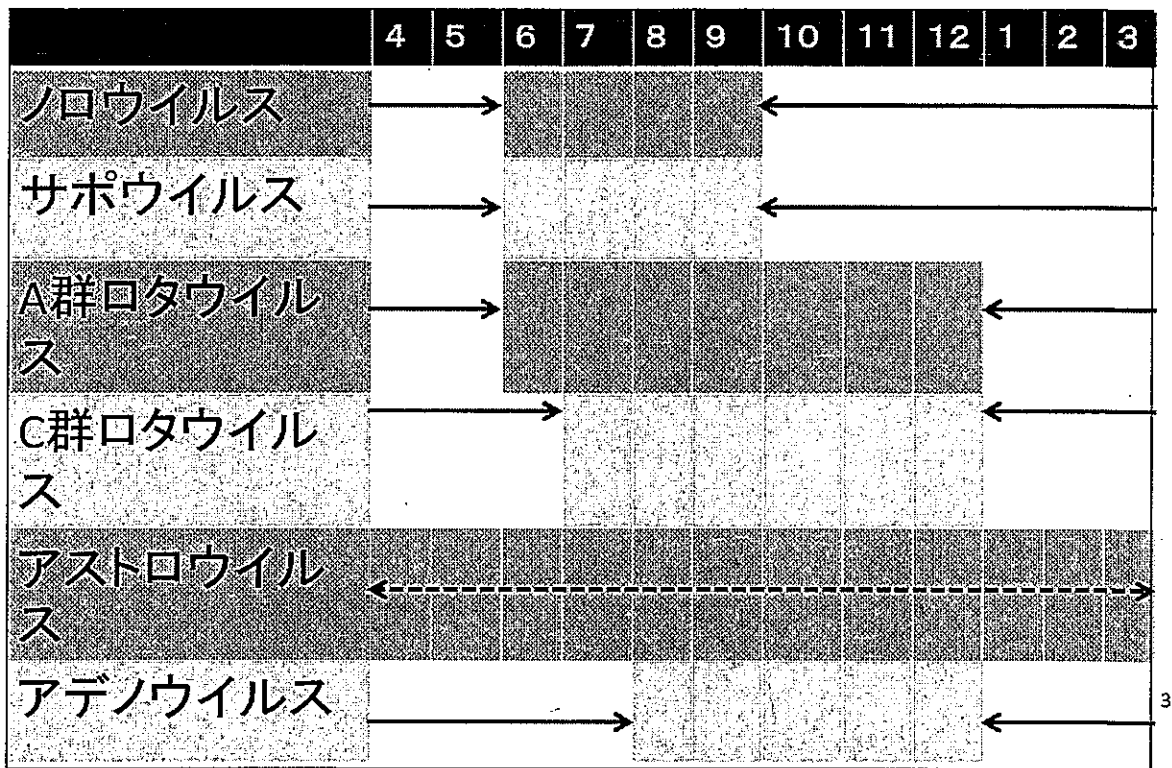


主な感染性胃腸炎の原因ウイルス

ウイルス	潜伏期	主症状	流行の特徴
ノロウイルス 	24～48時間	下痢、嘔吐、 (発熱)	全年齢層 ウイルス性食中毒の主原因 様々な施設で集団発生
サポウイルス 	24～48時間	下痢、嘔吐、 (発熱)	乳幼児～小児が主体 保育園、小学校等で集団発生
ロタウイルス 	2～4日	下痢、嘔吐、 発熱	乳幼児が主体 15人に1人の割合で入院し、毎年 死亡例がある。学童、成人(老人 施設等)で集団発生
アストロウイルス 	1～4日	下痢、嘔吐、 発熱	乳幼児～小児が主体
アデノウイルス 	3～6日	下痢、高熱	乳幼児が主体

2

感染性胃腸炎（ウイルス）の流行時期



嘔吐物の拡散実験

多摩府中保健所調査結果より

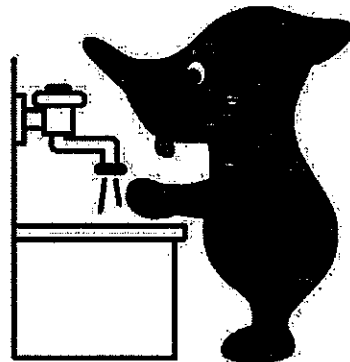
擬似おう吐物の拡散実験

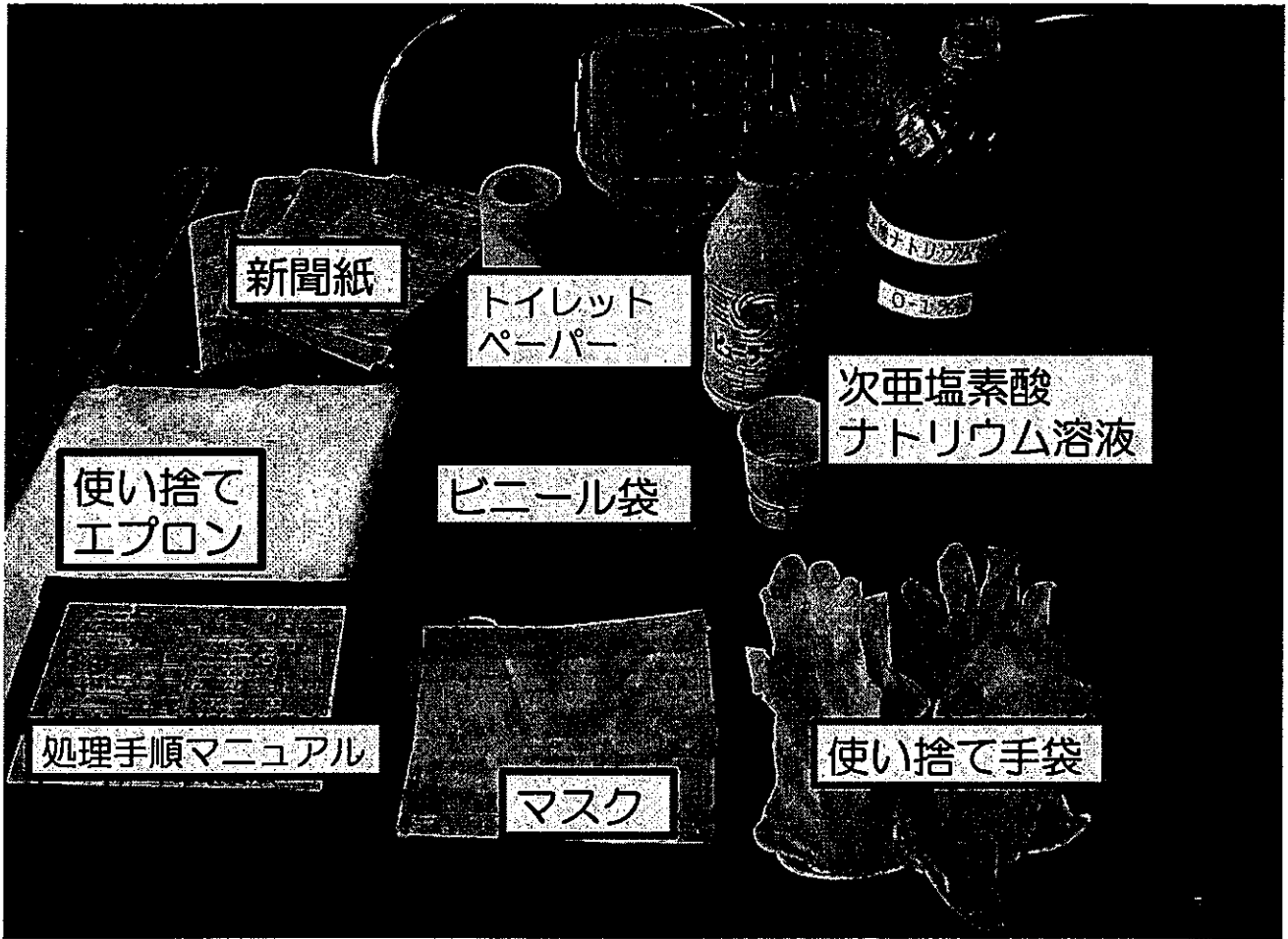
擬似おう吐物: 1mの高さから落下



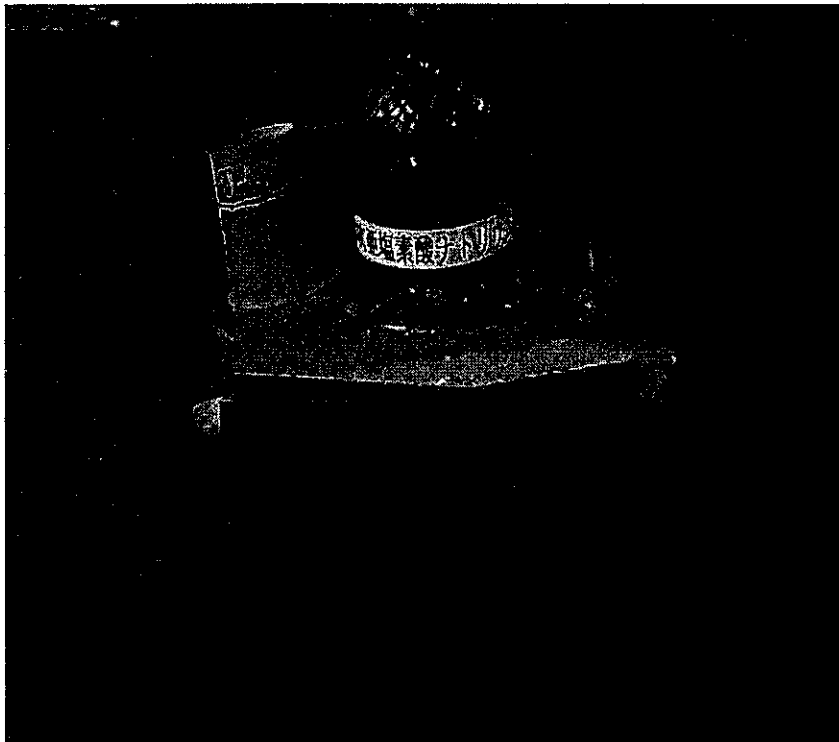
約1.7メートル飛散

吐物処理の実際





嘔吐物処理セットの一例



- 使い捨て手袋
- 使い捨てマスク
- 使い捨て
エプロン
- ビニール袋
- 新聞紙
ペーパータオル
- 消毒薬
(次亜塩素酸ナト
リウム)
- 処理手順
マニュアル

まずは換気を忘れず！



○		<p>室内の空気の流れをスムーズにするためには、空気の入出口をできるだけ対角線となるように2か所以上つくる。換気扇を使用する場合も、反対側にある窓を少し開け、空気の入出口をつくと効果的。</p>
✕		<p>このような例は、風の出入り口がなく、効果的な換気は期待できません。</p>

9

処理時のポイント

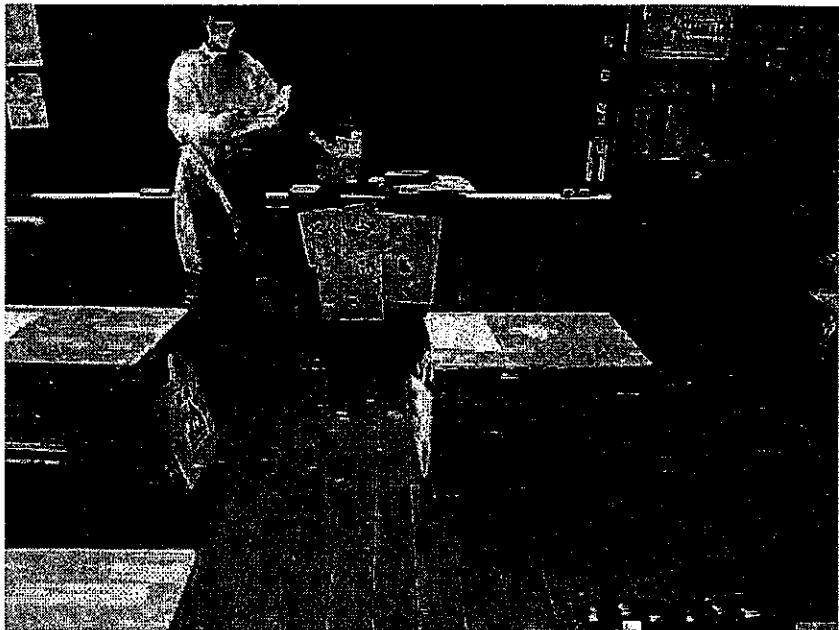
- 大きく窓を開けるなどして換気し、換気設備がある場合は必ず運転する
- 汚染場所には関係者以外人が近づかないようにする
 - ①患者ケア担当
 - ②吐物処理担当
 - ③他児童・生徒の避難等の補助担当



10



消毒場所の確保・机の移動



ゴミ袋を二つ用意



←箱を利用した場合

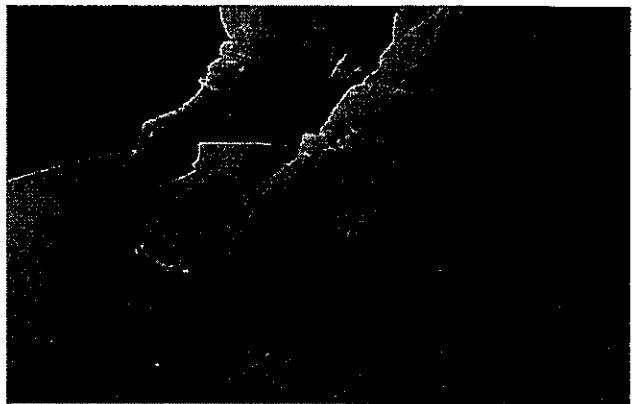
13

食器などを片付ける

※嘔吐物が食器についてしまった場合、絶対に給食室には持っていかない。

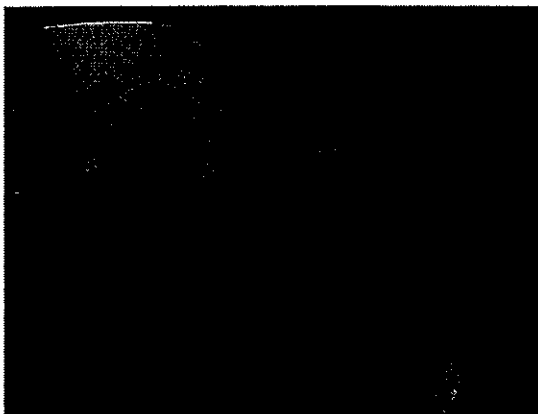


吐物を取り除き、食器のみでビニール袋に入れ、後で消毒する。



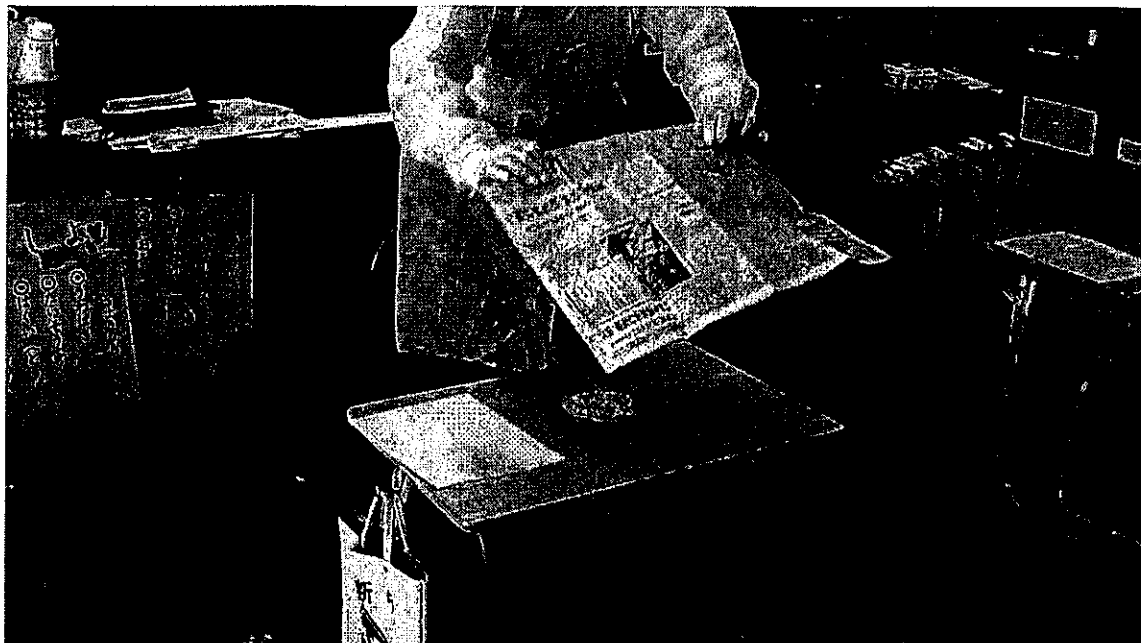
吐物以外ない状態にする

※イス等近くにあった物品も汚染されている危険あり



14

嘔吐物を新聞紙で覆う



15

吐物処理方法（机）



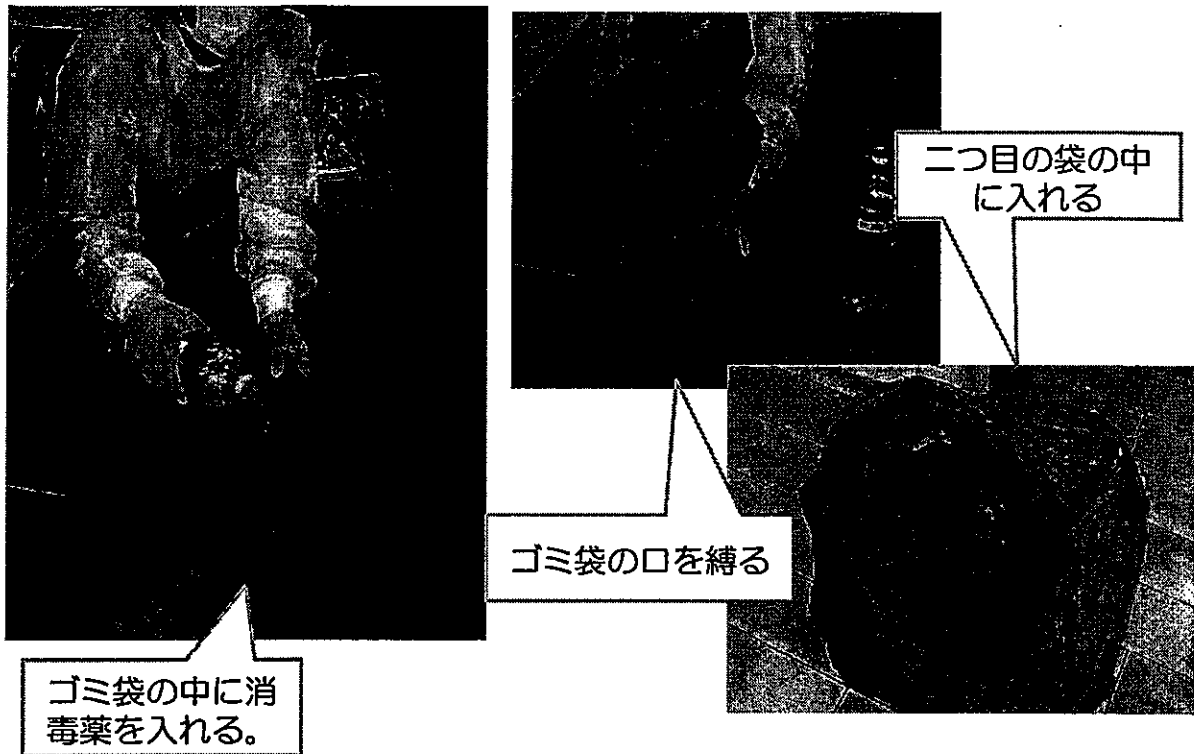
新聞の上から消毒薬を
たっぷりかける

静かに中心に向かっ
て包み込んでいく
(2度拭きしない)

ビニール袋にそっと
入れる。嘔吐物が無
くなるまで数回繰り
返しましょう。

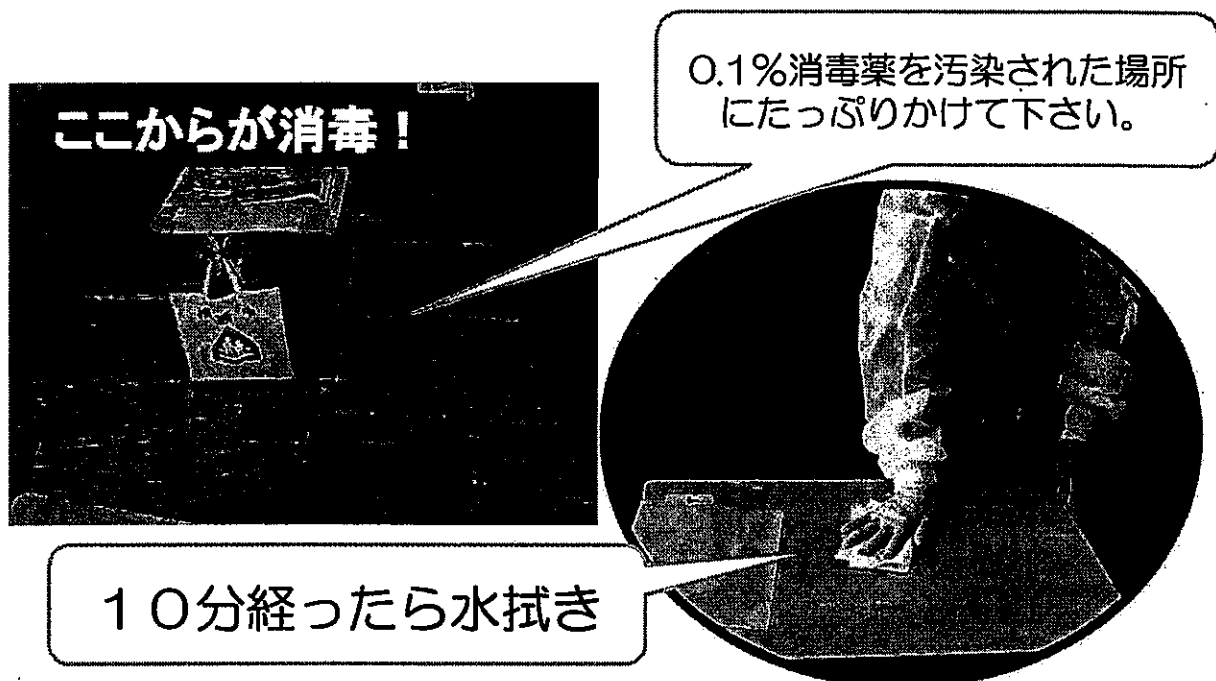
16

ビニール袋の取り扱いその1



17

- ①嘔吐物を取り除いた机、床とその周囲を、0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液をまんべんなくかける。
- ②上から40~60ℓのゴミ袋を切り開きかぶせる。
- ③その上に新聞紙を乗せ、光の遮断、消毒中であることを示す。
- ④10分経ったら水拭きする。

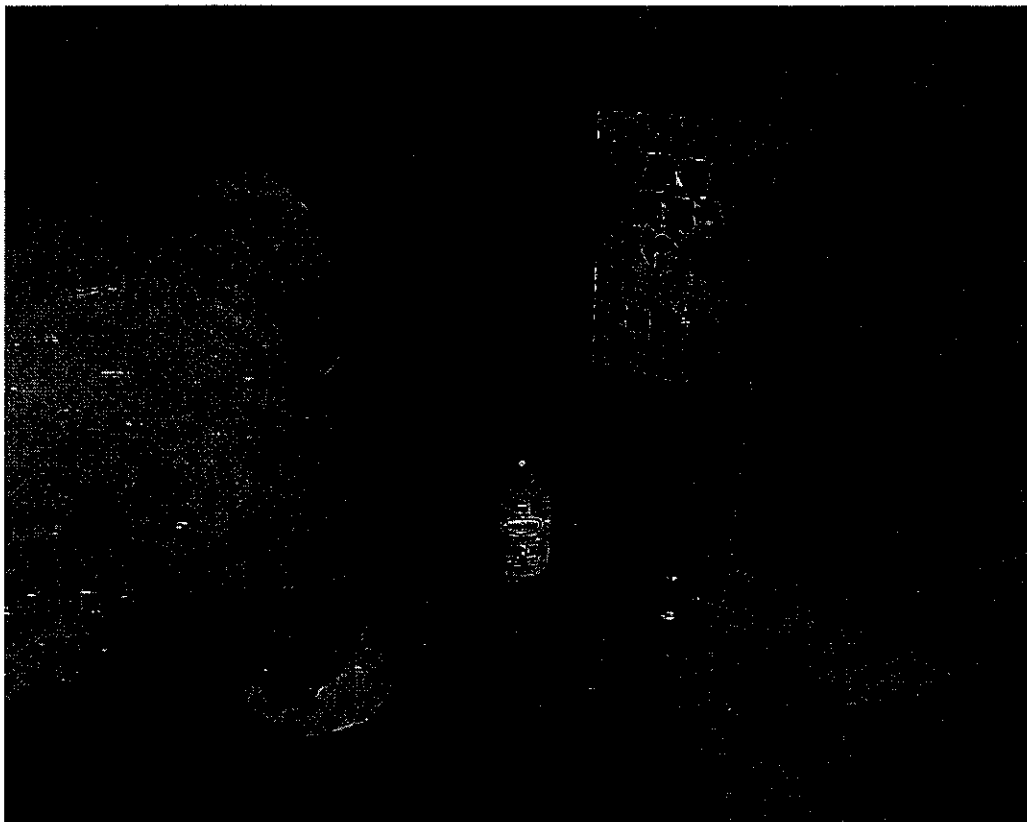


18



手袋→ガウン→マスクの順
汚染された外側に触れ
ないように注意！
中表になるようにする

吐物処理した時の
ゴミ袋も一緒に入れ
きちんと口を縛って
処分する



手洗い・うがいをする

次の症状がある場合は
すぐにスタッフにお知らせください

1. 熱（38度以上）がある、または熱っぽい
2. 上気道炎症状（咳、鼻汁、咽頭痛など）がある
3. インフルエンザ様症状（全身がだるい、寒気、頭痛、関節痛・筋肉痛など）がある
4. 咳があり、血がまざった痰がでる
5. からだにぶつぶつ（発疹）が出ている
6. からだにぶつぶつ（発疹）が出ていて、かゆみや痛みがある
7. 唇や口の周りにぶつぶつ（発疹）が出ていて、痛みがある
8. 首がかたい感じがしたり、痛かったりする
9. 下痢便（水のような便、柔らかい便、形のない便、噴出すような便など）が出た
10. 吐いた、または吐き気がする
11. おなかが痛く、便に血がまざっている
12. 目が赤く、目やにが出ている
13. 創などがあり、膿がでたり、赤かったり、腫れていたり、痛かったりする

エコノミークラス症候群 予防のために

○ エコノミークラス症候群とは

食事や水分を十分に取らない状態で、車などの狭い座席に長時間座っていて足を動かさないと、血行不良が起こり血液が固まりやすくなります。その結果、血の固まり（血栓）が血管の中を流れ、肺に詰まって肺塞栓などを誘発する恐れがあります。

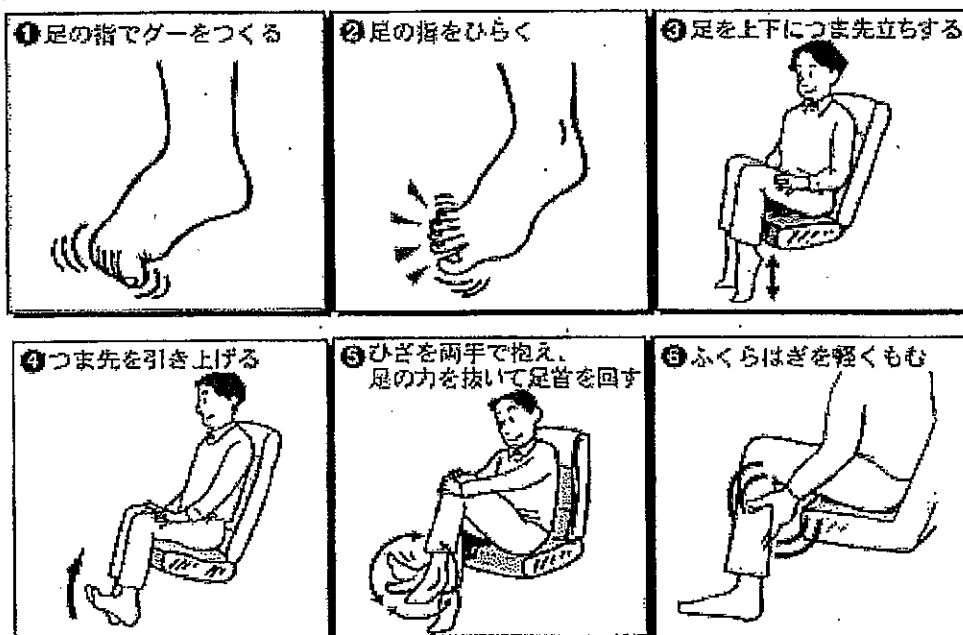
○ 予防のために心掛けると良いこと

予防のためには、

- ① ときどき、軽い体操やストレッチ運動を行う
- ② 十分にこまめに水分を取る
- ③ アルコールを控える。できれば禁煙する
- ④ ゆったりとした服装をし、ベルトをきつく締めない
- ⑤ かかとの上げ下ろし運動をしたりふくらはぎを軽くもんだりする
- ⑥ 眠るときは足をあげる

などを行いましょう。

○ 予防のための足の運動



生活機能低下を防ごう！

「生活不活発病」に注意しましょう

生活不活発病とは…

「動かない」(生活が不活発な)状態が続くことにより、心身の機能が低下して、「動けなくなる」ことをいいます。

避難所での生活は、動きまわることが不自由になりがちなことに加え、それまで自分で行っていた掃除や炊事、買い物などができなかつたり、ボランティアの方等から「自分達でやりまますよ」と言われてあまり動かなかつたり、心身の疲労がたまつたり… また、家庭での役割や人との付き合いの範囲も狭くなりがちで、生活が不活発になりやすい状況にあります。

生活が不活発な状態が続くと心身の機能が低下し、「生活不活発病」となります。

特に、高齢の方や持病のある方は生活不活発病を起こしやすく、悪循環^{注)}となりやすいため、早期に対応することが大切です。

注) 悪循環とは…

生活不活発病がおきると 歩くことなどが難しくなつたり 疲れやすくなつたりして「動きにくくなり、「動かない」ことでもますます生活不活発病はすすんでいきます。

予防のポイント

- 毎日の生活の中で活発に動くようにしましょう。
(横になっているより、なるべく座りましょう)
- 動きやすいよう、身の回りを片付けておきましょう。
- 歩きにくくなくても、杖などで工夫をしましょう。
(すぐに車いすを使うのではなく)
- 避難所でも楽しみや役割をもちましょう。
(遠慮せずに、気分転換を兼ねて散歩や運動も)
- 「安静第一」「無理は禁物」と思いこまないで。
(病気の時は、どの程度動いてよいか相談を)



※ 以上のことに、周囲の方も一緒に工夫を。
(ボランティアの方等も必要以上の手助けはしないようにしましょう)

※特に、高齢の方や持病のある方は十分気をつけて下さい。

発見のポイント ～早く発見し、早めの対応を～

「生活不活発病チェックリスト」を利用してみましょう。

要注意(赤色の口)に当てはまる場合は、保健師、救護班、行政、医療機関などにご相談ください。

厚生労働省

生活不活発病チェックリスト

下の④～⑥の項目について

地震前(左側)と現在(右側)のあてはまる状態に印をつけてください。

地震前

現在

①屋外を歩くこと

- 遠くへも1人で歩いていた
 近くなら1人で歩いていた
 誰かと一緒なら歩いていた
 ほとんど外は歩いていなかった
 外は歩けなかった

- 遠くへも1人で歩いている
 近くなら1人で歩いている
 誰かと一緒なら歩いている
 ほとんど外は歩いていない
 外は歩けない



②自宅内を歩くこと

- 何もつかまらずに歩いていた
 壁や家具を伝って歩いていた
 誰かと一緒なら歩いていた
 這うなどして動いていた
 自力では動き回れなかった

- 何もつかまらずに歩いている
 壁や家具を伝って歩いている
 誰かと一緒なら歩いている
 這うなどして動いている
 自力では動き回れない



③身の回りの行為(入浴、洗面、トイレ、食事など)

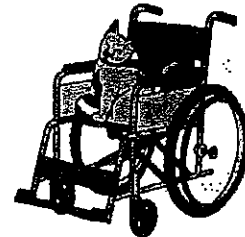
- 外出時や旅行の時にも不自由はなかった
 自宅内では不自由はなかった
 不自由があるがなんとかしていた
 時々人の手を借りていた
 ほとんど助けてもらっていた

- 外出時や旅行の時にも不自由はない
 自宅内では不自由はない
 不自由があるがなんとかしている
 時々人の手を借りている
 ほとんど助けてもらっている

④車いすの使用

- 使用していなかった
 時々使用していた
 いつも使用していた

- 使用していない
 時々使用
 いつも使用



⑤外出の回数

- ほぼ毎日
 週3回以上
 週1回以上
 月1回以上
 ほとんど外出していなかった

- ほぼ毎日
 週3回以上
 週1回以上
 月1回以上
 ほとんど外出していない



⑥日中どのくらい体を動かしていますか

- 外でもよく動いていた
 家の中ではよく動いていた
 座っていることが多かった
 時々横になっていた
 ほとんど横になっていた

- 外でもよく動いている
 家の中ではよく動いている
 座っていることが多い
 時々横になっている
 ほとんど横になっている

次のことはいかがですか？

⑦地震の前より、歩くことが難しくなりましたか？

- 変わらない 難しくなった

⑧ほかにも、難しくなったことはありますか？

- ない ある → 和式トイレをつかう 段差(高い場所)の上り下り 床からの立ち上がり
 その他(具体的に記入を:)

氏名

(男・女、才) 月 日現在

*このチェックリストで、赤色の (一番よい状態ではない)がある時は注意してください。

*特に地震前(左側)と比べて、現在(右側)が1段階でも低下している場合は、早く手を打ちましょう。

口腔機能の向上のポイント!

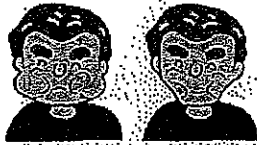
*高齢期は、歯の数や唾液の分泌の減少、かむ力や飲み込む機能の衰えなどから、お口の健康の問題が起こりやすくなります。
「お口の手入れ」と「お口の体操」を毎日行いましょう。



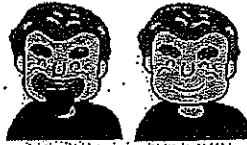
<お口の手入れ>

- ・歯と歯ぐきの境目に歯ブラシの毛先をあてて、時間をかけて丁寧にみがきましょう。
- ・舌苔（食べ物のカスや細菌などの汚れ）が付着していると口臭の原因になります。舌から頬の内側にかけて柔らかい歯ブラシで軽くこすりましょう。
- ・入れ歯は、食後にはずして水道水を流しながら、歯ブラシできれいにこすりましょう。

お口の体操



① 口を閉じたまま頬をふくらましたりすぼめたりする。



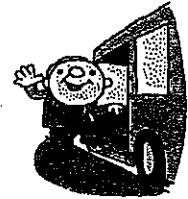
② 口を大きく開けて舌を出したり引っ込めたりする。



③ 舌を出して上下、左右に動かす。

閉じこもり予防のポイント!

*閉じこもりとは、寝たきりなどではないにもかかわらず、家からほとんど外出せずに過ごしている状態（週に1回も外出しない状態）をいいます。一日ほとんど動かない生活をしている人は、「掃除や料理など家庭の中で役割を増やす」「買い物や散歩など外に出る時間をつくる」「地域の行事に参加する」など、少しずつ生活空間を広げてみましょう。



認知症予防のポイント!



- *野菜や果物に含まれるビタミンC、E、βカロテン【抗酸化作用】、青魚に含まれる不飽和脂肪酸【動脈硬化予防】を積極的に食べましょう。
- *ウォーキング、水泳、体操などの有酸素運動は脳を活性化させます。週に数回は長めの散歩をおすすめします。
- *文章を読んだり書いたり、囲碁・将棋、楽器の演奏、旅行、ダンスなどの活動は認知症予防に役立ちます。積極的に楽しみを増やしましょう。

うつ病予防のポイント!

- *うつは、誰もがかかる可能性のある病気ですが、気持ちの持ちよう改善するものではありません。うつ症状に気づいたら、早めに専門医に相談することが大切です。
- *つらい気持ちになったら、家族や友人などに話してみるのも、気持ちを楽にする方法のひとつです。
- *できるだけ起床時間や就寝時間を規則的にし、生活のリズムを整えましょう。
- *疲れているときは無理をせず、家事や外出などを控えて休養を心がけましょう。



うつの主な症状

- ◇憂うつな気分（悲しい、涙がでる、イライラする）
- ◇興味や関心がなくなる
- ◇自分をせめてしまう
- ◇思考力、集中力の低下
- ◇疲れやすい
- ◇眠れない
- ◇食欲がない
- ◇頭痛、胃痛、肩こり など

被災状況下での公共の場所

および施設における最低トイレ数

機 関	短 期	長 期
受入/一時 滞在センター (避難所)	50人につき1基 女性対男性の割合は3:1	

◎設置場所は、できるだけ明るい場所が望ましいです。

印旛保健所

11 指定避難所・避難場所一覧

成田市

指定避難所

市外局番は0476

No.	施設名	住 所	連絡先
1	成田高等学校(講堂兼体育館)	成田27	22-2131
2	成田小学校(体育館)	幸町948-1	22-1334
3	成田国際文化会館	土屋303	23-1331
4	成田中学校(体育館)	土屋928-1	22-0304
5	美郷台小学校(体育館)	美郷台2-19-1	23-6011
6	印東体育館	船形186-2	28-6078
7	公津小学校(体育館)	台方851	26-2467
8	平成小学校(体育館)	飯仲50-1	22-1361
9	公津の杜小学校(体育館)	公津の杜3-2	29-7770
10	公津の杜中学校(体育館)	公津の杜5-29	20-5511
11	成田西陵高等学校(体育館)	松崎20	26-8111
12	八生小学校(体育館)	松崎1468	26-8038
13	中郷運動施設(体育館)	赤荻1574	20-1584
14	久住体育館	幡谷922-6	26-7251
15	久住小学校(体育館)	久住中央3-12-1	36-0006
16	久住中学校(体育館)	久住中央2-1	36-0602
17	豊住運動施設(体育館)	北羽鳥1975-3	20-1584
18	豊住小学校(体育館)	北羽鳥1985-2	37-0004
19	遠山小学校(体育館)	小菅1411	35-0022
20	遠山中学校(体育館)	大清水19	35-0128
21	三里塚小学校(体育館)	本三里塚153-1	35-0049
22	本城小学校(体育館)	本城178-1	35-5533
23	十余三運動施設(体育館)	十余三27-3	20-1584
24	中央公民館	赤坂1-1-3	27-5911
25	吾妻中学校(体育館)	吾妻1-24	26-6167
26	吾妻小学校(体育館)	吾妻2-6	27-9060
27	成田国際高等学校(体育館)	加良部3-16	27-2610
28	新山小学校(体育館)	加良部4-23	26-6767
29	西中学校(体育館)	加良部5-11	26-2606
30	加良部小学校(体育館)	加良部6-8	26-3517
31	橋賀台小学校(体育館)	橋賀台3-4	27-2531
32	玉造小学校(体育館)	玉造3-4	28-3133
33	玉造中学校(体育館)	玉造3-7	27-0677
34	成田北高等学校(体育館)	玉造5-1	27-3411
35	神宮寺小学校(体育館)	玉造5-28	26-3677
36	中台小学校(体育館)	中台1-4	27-0753
37	向台小学校(体育館)	中台3-6	26-4812
38	中台中学校(体育館)	中台4-2	26-4201
39	中台運動公園(体育館)	中台5-2	26-7251
40	滑河運動施設(体育館)	滑川1142	20-1584

No.	施設名	住 所	連絡先
41	高岡運動施設(体育館)	大和田151	20-1584
42	下総みどり学園(体育館)	名古屋1214	96-0135
43	下総高等学校(体育館)	名古屋247	96-1161
44	下総公民館	高岡1435	27-5911
45	大須賀小学校(体育館)	伊能547	73-2255
46	大栄中学校(体育館)	伊能125	73-4820
47	桜田小学校(体育館)	桜田941	73-3232
48	津富浦小学校(体育館)	津富浦1093	73-2277
49	大栄B&G海洋センター	一坪田388	26-7251
50	大栄公民館	松子393	27-5911
51	前林小学校(体育館)	前林430	73-3344
52	川上小学校(体育館)	多良貝245-308	73-3434

佐倉市

指定避難場所・避難所

市外局番は043

No.	施設名	住所	連絡先
1	佐倉市立馬渡保育園舎	馬渡818番地2	498-0065
2	佐倉市立佐倉小学校体育館及び校舎	新町78番地4	484-1028
3	佐倉市立佐倉東小学校体育館及び校舎	将門町7番地	484-0626
4	佐倉市立内郷小学校体育館及び校舎	岩名870番地	486-1501
5	佐倉市立佐倉中学校体育館及び校舎	城内町117番地10	484-1026
6	佐倉市立佐倉東中学校体育館及び校舎	高岡423番地1	486-3031
7	佐倉市立根郷小学校体育館及び校舎	城454番地	484-1031
8	佐倉市立山王小学校体育館及び校舎	山王一丁目44番地	486-7011
9	佐倉市立寺崎小学校体育館及び校舎	大崎台四丁目4番地1	486-3601
10	佐倉市立南部中学校体育館及び校舎	神門432番地1	498-0023
11	佐倉市立根郷中学校体育館及び校舎	山王二丁目37番地1	483-1000
12	佐倉市立臼井小学校体育館及び校舎	臼井田2395番地	487-3009
13	佐倉市立王子台小学校体育館及び校舎	王子台五丁目19番地	487-1376
14	佐倉市立間野台小学校体育館及び校舎	王子台二丁目18番地	461-5501
15	佐倉市立印南小学校体育館及び校舎	印南223番地1	486-1531
16	佐倉市立千代田小学校体育館及び校舎	吉見553番地	487-3140
17	佐倉市立臼井中学校体育館、柔道場及び校舎	臼井1530番地	489-5635
18	佐倉市立臼井西中学校体育館及び校舎	臼井台1588番地	462-1781
19	佐倉市立臼井南中学校体育館及び校舎	染井野四丁目1番地	488-1020
20	佐倉市立志津小学校体育館及び校舎	上座1156番地2	487-0252
21	佐倉市立上志津小学校体育館及び校舎	上志津1752番地	489-3829
22	佐倉市立下志津小学校体育館及び校舎	中志津四丁目26番地10号	487-8550
23	佐倉市立南志津小学校体育館及び校舎	下志津原164番地2	489-3884
24	佐倉市立西志津小学校体育館及び校舎	西志津七丁目2番1号	489-5835
25	佐倉市立井野小学校体育館及び校舎	西ユ一カリが丘三丁目1番地6	487-1541
26	佐倉市立青菅小学校体育館及び校舎	宮ノ台一丁目17番1号	488-0121
27	佐倉市立小竹小学校体育館及び校舎	ユ一カリが丘五丁目5番1号	461-3121
28	佐倉市立志津中学校体育館及び校舎	井野1376番地	487-6611
29	佐倉市立上志津中学校体育館及び校舎	上志津866番地	487-1786
30	佐倉市立井野中学校体育館及び校舎	宮ノ台三丁目9番1号	461-5221
31	佐倉市立西志津中学校体育館及び校舎	西志津四丁目18番1号	462-1161
32	佐倉市立和田小学校体育館及び校舎	直弥59番地1	498-1509
33	佐倉市立弥富小学校体育館及び校舎	岩窟町145番地	498-0603
34	佐倉市立白銀小学校体育館及び校舎	白銀一丁目4番地	483-4611
35	佐倉市立染井野小学校体育館及び校舎	染井野一丁目19番地	463-6511
36	千葉県立佐倉高等学校体育館、武道場、セミナーハウス及び校舎	鍋山町18番地	484-1021
37	千葉県立佐倉東高等学校体育館、格技場及び校舎	城内町278番地	484-1024
38	千葉県立佐倉西高等学校体育館、セミナーハウス及び校舎	下志津263番地	489-5881
39	千葉県立佐倉南高等学校体育館及び校舎	太田1956番地	486-1711

※佐倉市立臼井小学校については、水防法に基づく浸水想定区域内に位置することから、洪水時は2階以上を使用可とする。

四街道市
指定避難所

市外局番は043

No.	施設名	住 所	連絡先
1	南小学校	物井1536	422-2905
2	八木原小学校	千代田5-4	423-7611
3	千代田中学校	千代田5-27	423-4611
4	栗山小学校	つくし座3-1-8	422-3155
5	四街道北中学校	栗山1055	422-5101
6	四街道北高等学校	栗山1055-4	422-1788
7	四街道高等学校	鹿渡809-2	422-6215
8	中央小学校	鹿渡917	422-2138
9	四街道中学校	めいわ1-3	433-3636
10	千葉敬愛高等学校	四街道1522	422-0131
11	愛国学園大学附属四街道高等学校	四街道1532-16	421-3533
12	四街道小学校	四街道1557	422-2726
13	四街道西中学校	大日23	421-2081
14	大日小学校	大日978	422-2711
15	和良比小学校	美しが丘3-12	432-3780
16	四和小学校	和良比228	432-5441
17	山梨小学校	旭ヶ丘1-9-12	432-0506
18	旭小学校	山梨1485	432-8981
19	みそら小学校	みそら2-13	432-1500
20	旭中学校	南波佐間267	432-8451
21	吉岡小学校	鷹の台3-2	237-5990
22	四街道公民館	四街道1532-17	422-2926
23	千代田公民館	もねの里3-20-30	422-4151
24	旭公民館	和田54-10	432-6371
25	四街道総合公園	和田161	433-1111
26	文化センターホール棟	大日396	423-1618
27	南部総合福祉センターわろうべの里	和良比635-4	433-6201

八街市

指定避難所

市外局番は043

No.	施設名	住 所	連絡先
1	滝台コミュニティセンター	滝台252	445-4768
2	八街北中学校	八街は18-2	442-8101
3	文違コミュニティセンター	文違301	442-5855
4	二州小学校	山田台1	445-4002
5	八街東小学校	八街ほ40-1	443-0114
6	朝陽小学校	八街は19-2	444-0147
7	松林公民館	八街い213	443-1414
8	八街市役所・総合保健福祉センター	八街ほ35-29	443-1111
9	中央公民館	八街ほ796-1	443-3225
10	実住保育園	八街ほ215	443-1020
11	八街保育園	八街に112	443-1727
12	八街北小学校	泉台3-17	443-0015
13	朝陽保育園	八街は21	444-0099
14	川上小学校	大谷流867-1	445-5020
15	けやきの森公園	八街ほ245-1	—
16	八街南中学校	吉倉590-1	445-3498
17	住野公民館	八街は12	—
18	コミュニティセンターいさご会館	砂91-1	445-4201
19	笹引小学校	八街へ199-133	444-0049
20	八街中央中学校	八街ほ591	444-1217
21	八街市スポーツプラザ	八街い84-10	443-8003
22	実住小学校	八街ほ301	444-1227
23	神田集会所	八街い55-9	—
24	二州第二保育園	四木1938	445-5021
25	二州小学校沖分校	沖1033	445-4004
26	八街中学校	八街ほ35	443-1721
27	交進小学校	八街ろ111-33	444-0146
28	交進保育園	八街ろ111	444-0519
29	用草公民館	用草1044-1	—
30	二州第一保育園	山田台671-1	445-4003

印西市

指定避難所

市外局番は0476

No.	施設名	住 所	連絡先
1	木下小学校	木下1502番地	42-2607
2	小林小学校	小林2448番地2	42-4311
3	大森小学校	大森3350番地	42-2089
4	船穂小学校	船尾1292番地	46-0023
5	永治小学校	浦部557番地	42-2347
6	木刈小学校	木刈二丁目6番地	46-1755
7	内野小学校	内野一丁目1番地	46-1781
8	原山小学校	原山三丁目4番地	46-1701
9	小林北小学校	小林北五丁目1番地5	97-1100
10	小倉台小学校	小倉台二丁目3番地	46-5711
11	高花小学校	高花二丁目4番地	46-6211
12	西の原小学校	西の原二丁目7番地	45-0150
13	原小学校	原三丁目5番地	45-8611
14	印西中学校	大森2244番地	42-3151
15	船穂中学校	高花一丁目3番地	46-0021
16	木刈中学校	木刈二丁目1番地	46-1751
17	小林中学校	小林大門下一丁目4番地1	97-3100
18	原山中学校	原山一丁目2番地	46-6911
19	西の原中学校	西の原一丁目3番地	45-0160
20	そうふけふれあいの里	草深924番地	47-4700
21	平岡自然公園	平岡1554番地	42-1008
22	六合小学校	瀬戸1580番地	98-0006
23	宗像小学校	岩戸1680番地	99-0007
24	平賀小学校	平賀1161番地2	98-1151
25	いには野小学校	若菽三丁目9番地	98-2080
26	印旛中学校	舞姫二丁目1番地1	98-0711
27	本埜第一小学校	中根1281番地2	97-0035
28	本埜第二小学校	笠神1745番地	97-0036
29	滝野小学校	滝野五丁目1番地	97-1977
30	滝野中学校	滝野五丁目2番地	97-0009
31	本埜中学校	笠神250番地	97-1988
32	牧の原小学校	牧の原三丁目1番地1	29-5560

白井市

指定避難場所・避難所

白井市

市外局番は047

No.	施設名	住 所	連絡先
1	白井市役所	復1123	492-1111
2	白井総合公園広場	復1422-10	(492-1111)
3	白井コミュニティセンター	復1458-1	491-1505
4	白井運動公園	神々廻1728-1	497-0222
5	白井第一小学校	根105	492-0513
6	白井中学校	根54	492-0524
7	白井第三小学校	根336-15	491-8181
8	白井第二小学校	中181-2	492-0020
9	公民センター	中98-17	492-5266
10	平塚東区集会所	平塚873	491-4015
11	平塚西区集会所	平塚1589	491-4044
12	富士センター	富士239-2	446-1911
13	富士南園広場	富士209-1	(492-1111)
14	さくら広場	富士76-99	—
15	開拓広場	富士37	—
16	大山口小学校	大山口2-2-1	491-8030
17	大山口中学校	大山口2-1-1	491-8091
18	中木戸公園	大山口1-26	(492-1111)
19	清水口小学校	清水口2-3-1	491-8070
20	清水口保育園	清水口2-8-1	491-8082
21	西白井複合センター	清水口1-2-1	492-1011
22	七次第一公園	清水口2-2	(492-1111)
23	公共施設予定地	西白井2-16-1	(492-1111)
24	七次台小学校	七次台3-17-1	491-5780
25	七次台中学校	七次台1-21-1	491-1275
26	白井駅前センター	堀込1-2-2	497-1151
27	池の上小学校	池の上2-21	492-2611
28	県立白井高等学校	池の上1-8-1	491-1511
29	南山小学校	南山1-7-1	491-8071
30	南山中学校	南山1-6-1	492-1441
31	南山保育園	南山1-7-1	491-1413
32	南山公園	南山1-4	(492-1111)
33	桜台センター	桜台2-14	491-7111
34	桜台小学校	桜台3-28	492-7011
35	桜台中学校	桜台3-27	492-7020
36	桜台保育園	桜台2-9	492-6101
37	福祉センター	清戸766-1	492-2022

富里市

指定避難所

市外局番は0476

No.	施設名	住 所	連絡先
1	富里小学校	七栄720番地	93-0006
2	富里第一小学校	中沢573番地1	93-6881
3	富里南小学校	御料4番地1	93-1015
4	浩養小学校	十倉185番地54	94-0951
5	洗心小学校	十倉732番地3	94-0851
6	日吉台小学校	日吉台4丁目21番地	93-6369
7	根木名小学校	根木名1005番地3	92-0662
8	七栄小学校	七栄132番地7	92-9070
9	富里中学校	七栄652番地226	93-0012
10	富里北中学校	日吉倉1515番地31	93-9508
11	富里南中学校	十倉127番地38	93-1171
12	北部コミュニティセンター	日吉台3丁目24-1	93-3755
13	中部ふれあいセンター	七栄448-10	91-3363
14	保健センター(福祉避難所)	七栄652-1	93-4121
15	福祉センター	七栄653-2	93-2301

酒々井町

指定避難所

市外局番は043

No.	施設名	住 所	連絡先
1	東京学館高等学校	伊篠21	496-3881
2	酒々井コミュニティプラザ	墨1459-1	496-4461
3	酒々井小学校	酒々井203	496-1041
4	プリミエール酒々井	中央台3-4-1	496-8681
5	酒々井中学校	尾上141-10	496-1040
6	大室台小学校	尾上2-2	496-5281
7	酒々井町役場	中央台4-11	496-1171
8	中央公民館	中央台4-10-1	496-5321
9	酒々井総合公園	墨44	496-7220

栄町

指定避難所

市外局番は0476

No.	施設名	住 所	連絡先
1	ふれあいプラザさかえ	安食938-1	95-1112
2	栄中学校	安食55	95-0011
3	栄東中学校(旧)	龍角寺1112-2	—
4	安食小学校	安食305	95-0017
5	安食台小学校	安食台4丁目34番1号	95-0971
6	北辺田小学校(旧)	北辺田212	—
7	酒直小学校(旧)	龍角寺33	—
8	竜角寺台小学校	竜角寺台6丁目26番1号	95-5311
9	布鎌小学校	請方157-1	95-0138
10	矢口集会所	矢口6-6	
11	麻生集会所	麻生182-1	95-0438

12 市町災害時医療救護所設置場所一覧

平成29年1月31日現在

市町	項目	名称	所在地	通信手段		
				電話番号	FAX	その他(PCメール等)
成田	選定中					
佐倉	必要時設定					
四街道	旭小学校	山梨	043-432-8981	043-432-8992		
	中央小学校	鹿渡	043-422-2138	043-422-6962		
	吉岡小学校	鷹の台	043-237-5990	043-237-5991		
	千代田中学校	千代田	043-423-4611	043-424-3392		
	四街道中学校	めいわ	043-433-3636	043-433-3600		
八街	八街市総合保健福祉センター	八街ほ	043-443-1631	043-443-1742	kenko@city.yachimata.lg.jp	
印西	高花保健センター	高花	0476-47-2111	0476-47-2655		
白井	白井市保健福祉センター	復	047-492-1111	047-491-3510	kenkou@city.shiroi.chiba.jp	
富里	富里市保健センター	七栄	0476-93-4121	0476-93-2422	kenkou@city.tomisato.lg.jp	
酒々井	林 内科小児科医院	東酒々井	043-496-3170	043-496-3170		
	酒々井町保健センター	中央台	043-496-0090	043-496-8453	kenkou@town.sisui.chiba.jp	
栄	ふれあいプラザさかえ	安食	0476-95-1112	0476-95-9500		

※上記の情報は、平成29年1月31日現在のものです。その後の情報については、各市町担当課に確認ください。

市町担当課一覧

市町	担当課	連絡先電話番号
成田	危機管理課	0475-20-1523
佐倉	危機管理課	043-484-6131
四街道	危機管理課	043-421-6102
八街	防災課	043-443-1119
印西	防災課	0476-42-5111
白井	危機管理課	047-492-1111
富里	市民活動推進課	0476-93-1114
酒々井	総務課	043-496-1171
栄	総務課	0476-95-1111

13 参考文献

千葉県防災計画

：千葉県防災危機管理部防防災政策課

<https://www.pref.chiba.lg.jp/bousai/keikaku/chiikibousai/zenbun.html>

大規模災害における保健師の活動マニュアル

：日本公衆衛生協会、全国保健師長会

http://www.nacphn.jp/O2/pdf/saigai_H25_manual.pdf

「避難所生活を過ごされる方々の健康管理に関するガイドラインについて」

：厚生労働省健康局総務課地域保健室

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001enhj-att/2r9852000001enj7.pdf>

避難所における感染対策マニュアル 2011 年 3 月 24 日版

：平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金「新型インフルエンザ等の院内感染制御に関する研究」研究班（主任研究者切替照雄）作成

http://www.kansensho.or.jp/disaster/disaster_con_5.pdf

避難所運営ガイドライン 平成 28 年 4 月 内閣府（防災担当）

http://www.bousai.go.jp/taisaku/hinanjo/pdf/1605hinanjo_guideline.pdf

災害時実動マニュアル

：千葉県習志野健康福祉センター

平成 27 年 9 月関東・東北豪雨による保健活動報告書—災害時保健師派遣の手引き—

：千葉県健康福祉部健康づくり支援課